

**立命館大学 情報システム
アニュアル・レポート 2008**

2009年7月28日
立命館情報化推進機構

目次

1. はじめに

- 1-1 2008 年度情報基盤整備の概要 4
- 1-2 2008 年度利用実態の主な特徴 4

2. 情報環境および各種サービスの利用実態

- 2-1 インターネット利用状況 5
 - 2-1-1 ネットワーク概念図および使用帯域の推移
- 2-2 教室利用状況 7
 - 2-2-1 情報教室を利用した授業数・担当教員・受講登録者数
 - 2-2-2 情報教室稼働率
 - 2-2-3 遠隔講義科目数
- 2-3 情報教室およびマルチメディアルームでの Windows アプリケーション利用状況 10
 - 2-3-1 Windows アプリケーション別年間のベリ起動回数および実利用者数
 - 2-3-2 Windows アプリケーションのマルチメディアルーム別実利用者数
- 2-4 マルチメディアルーム（自学・自習のためのオープンパソコンルーム）利用状況 12
 - 2-4-1 2005 年度からのマルチメディアルーム年間ログイン数および実利用者数の推移
 - 2-4-2 学部・研究科別マルチメディアルーム年間ログイン数および実利用者数の推移
 - 2-4-3 学部・研究科別年間のベリ印刷枚数および一人あたりの印刷枚数
- 2-5 無線 LAN 16
 - 2-5-1 2005 年度からの無線 LAN 年間のベリログイン数および実利用者数の推移
 - 2-5-2 学部・研究科別無線 LAN 年間のベリログイン数および実利用者数の推移
- 2-6 VPN 接続 18
 - 2-6-1 2005 年度からの VPN 接続年間のベリログイン数および実利用者数の推移
 - 2-6-2 学部・研究科別 VPN 接続年間のベリログイン数および実利用者数の推移
- 2-7 WebMAIL 20
 - 2-7-1 2005 年度からの WebMAIL 年間のベリログイン数および実利用者数の推移
 - 2-7-2 学部・研究科別 WebMAIL 年間のベリログイン数および実利用者数の推移
 - 2-7-3 携帯電話からの WebMAIL 利用数の推移
 - 2-7-4 迷惑メール対策について（スパムメール数の推移）
- 2-8 コースツール 24
 - 2-8-1 2005 年度からのコースツール年間のベリログイン数および実利用者数の推移
 - 2-8-2 学部・研究科別コースツール年間のベリログイン数および実利用者数の推移
 - 2-8-3 2008 年度開講科目別の利用状況
- 2-9 視聴覚資料・機器利用状況 27
 - 2-9-1 視聴覚資料利用状況
 - 2-9-2 視聴覚機器利用状況

3. 参考

- 3-1 2005 年度～2008 年度学生数（各年度 5 月 1 日現在） 30
- 3-2 RAINBOW パソコン台数 31
 - 3-2-1 情報教室
 - 3-2-2 マルチメディアルーム

別冊

1. Windows アプリケーションのマルチメディアルーム別実利用者数・・・・・・・・・・ 2
2. コースツール利用状況の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
3. プロジェクタ利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

※利用統計について

記載されているログイン数とは、ログインされた延べ人数を表している。また、実利用者数とは、1度でもログインしたことのあるユーザーの数を表している。

なお、経年比較の統計については、学部・研究生以外に非正規生や教員、職員の利用数も含んでいるが、学部・研究科別に算出している統計については、正規生のみを対象としている。

1. はじめに

1-1 2008 年度情報基盤整備の概要

2008 年度、情報基盤整備としてネットワーク環境の強化、教室環境の機能向上、メールシステムのバージョンアップを行った。各整備内容は、下記の通りである。

(1) ネットワーク

2009 年 2 月下旬から 3 月初旬にかけて、ネットワーク構成の見直しを行った。

- ・学外ネットワーク回線環境の強化：通信速度 100Mbps から 1 Gbps の回線へ増速した。
- ・キャンパス間ネットワーク回線環境の強化：朱雀・衣笠・BKC の 3 拠点で同レベルのネットワーク環境を利用できるようにし、通信速度 100Mbps から 1 Gbps の回線へ増速した。また、従来以上に安定したネットワーク環境にするため、データセンターを中心に冗長化した(複数ルートでキャンパス間の通信を可能にする。)キャンパス間ネットワーク環境に変更しネットワークの安定度を高めた。

(2) 教室環境

21 世紀第 1 期情報基盤整備計画(2008 年度整備)において、教室基本構成のうち未整備機器の充足、老朽化機器整備のリプレース、プレゼンテーション機能の追加設備の整備をすすめた。

- ・中大一般教室(100 名以上)すべてにプロジェクタとスクリーンを設置。
- ・100 名以下の小教室・ゼミ室においても、衣笠約 30 室(全 190 室中)、BKC 約 50 室(全 85 室中)にプロジェクタを設置。
- ・遠隔講義室 8 室について、通信装置の更新を実施。
- ・LL システムの老朽化への対応として、教室 8 室を CALL システムへ移行した。

(3) メールシステム

2009 年 2 月に職員用メールシステム、2009 年 3 月に RAINBOW メールシステム(教員・学生用)のバージョンアップを行い、メールボックスの容量増や操作性の向上を行った。

1-2 2008 年度利用実態の主な特徴

(1) 利用者数(学生数)の変化

- ・2008 年 4 月、びわこ・くさつキャンパスに生命科学部・薬学部が新設された。学生数(情報環境および各種サービスを利用する RAINBOW ユーザー)は年々増加しており、2005 年度から 2008 年度にかけて 2,000 名弱増加している。

(2) 情報環境の利用について

- ・マルチメディアルーム(学生の自学・自習用に開放しているオープンパソコンルーム)の利用について、実利用者数は 2005 年度から 2008 年度にかけてほぼ同じ数で推移しているが、一利用者あたりのログイン数は増加傾向を示している。
- ・マルチメディアルームでの印刷枚数については、学部・研究科により偏りがあるが、法務研究科の印刷枚数は突出して多い。(法科大学院では、独自のコースツールを利用した情報共有および伝達を進めており、院生自ら印刷する文書が多いようである。)
- ・無線 LAN 接続について、実利用者数は 2005 年度から 2008 年度にかけて約 2 倍に増加している。学部生の実利用者は、全学部において 2005 年度から増加傾向にある。研究科については、法務研究科の利用が突出して多い。
- ・自宅からインターネットを利用して RAINBOW に接続することができる VPN 接続の実利用者数についても、2005 年度から 2008 年度にかけて約 2 倍に増加している。

(3) RAINBOW サービスの利用

- ・WebMAIL の実利用者数は増加傾向にあるが、年間のベロログイン数は 2007 年度から 2008 年度にかけて微減している。
- ・スパムメールは増加傾向を示しており、対策ソフトが有効に機能していると考えられる。
- ・コースツールの利用について、2007 年度から 2008 年度にかけて年間のベロログイン数・実利用者数ともに増加傾向を示している。全開講科目(約 13,000 科目)のうち、1 年間で 1 回以上アクセスのあった科目は約 80% であるが、開講科目別アクセス数の推移によると、そのうち 1 回以上 10 回未満の割合が約 40% を占めている。この数は、2007 年度と 2008 年度でほぼ同じ数である。

2. 情報環境および各種サービスの利用実態

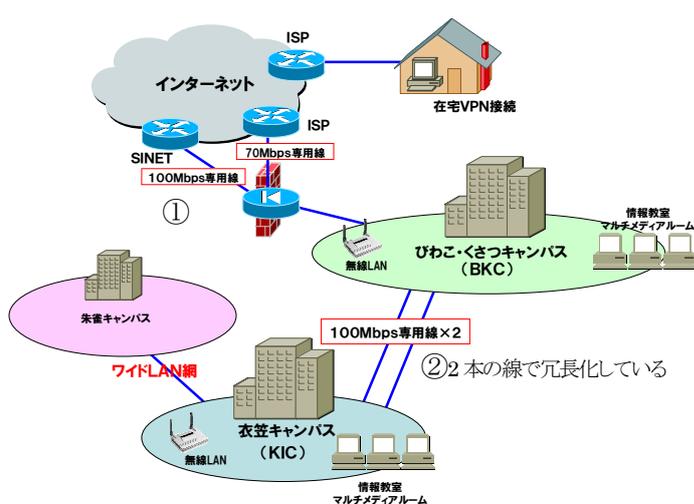
2-1 インターネット利用状況

2-1-1 ネットワーク概念図およびネットワーク使用帯域の推移

近年のネットワーク通信量増加に伴い、ネットワーク切り替え前の学内ー学外間のネットワーク回線(100Mbps) (図1、図2内の①)は、常時、回線で利用できる通信量の限界に達しつつあった。通信速度を100Mbpsから1Gbpsの回線へ増速したことにより、通信量の多い時期でも200Mbpsと余裕のある通信量となったことがわかる。また、学内のキャンパス間(衣笠-BKC間) (図1、図2内の②)のネットワークについても、開講期間中は通信量が限界に近い時期が見られたが、同様に余裕のある通信量となったことがわかる。

<ネットワーク概念図>

図内の①、②は、ネットワーク使用帯域の推移を示すグラフの番号を示している。



※学内-学外ネットワークの接続は、SINET (国立情報学研究所の学術情報ネットワーク) とインターネットサービスプロバイダの2拠点に接続している。

図1. 2009年3月3日以前 (ネットワーク切り替え前) のネットワーク概念図

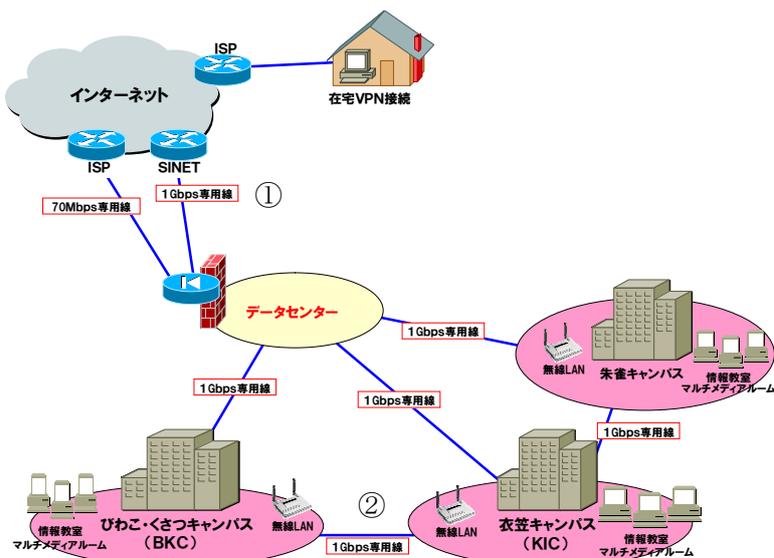


図2. 2009年3月4日以降 (ネットワーク切り替え後) のネットワーク概念図

<ネットワーク使用帯域の推移>

① 学内—学外間（SINET 側）ネットワーク使用帯域の推移

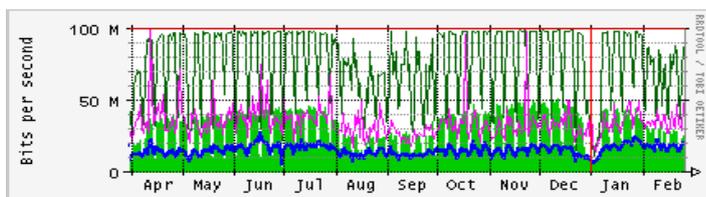


図3. ネットワーク使用帯域（ネットワーク切り替え前）

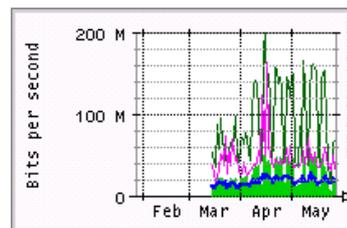


図4. ネットワーク使用帯域
（ネットワーク切り替え後）

② 衣笠—BKC 間ネットワーク使用帯域の推移

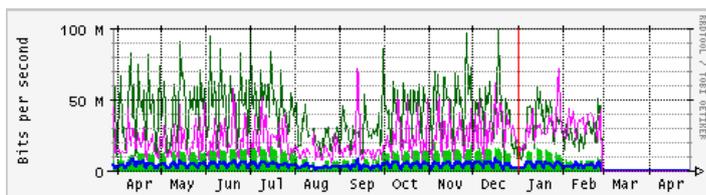


図5. 尽心館—アクロスウイング間ネットワーク仕様帯域
（ネットワーク切り替え前）

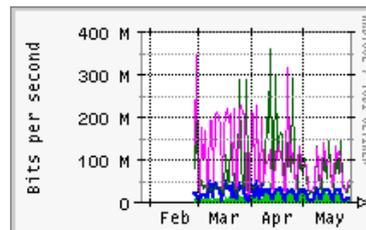


図7. ネットワーク仕様帯域
（ネットワーク切り替え後）

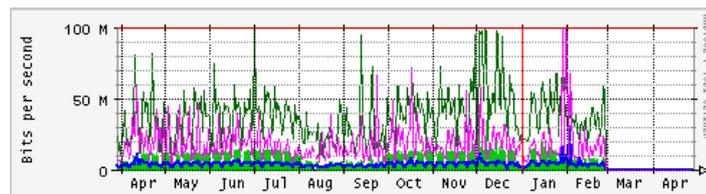


図6. 至徳館—コアステーション間ネットワーク使用帯域
（ネットワーク切り替え前）

2-2 教室利用状況

2-2-1 情報教室を利用した授業数・担当教員・受講登録者数

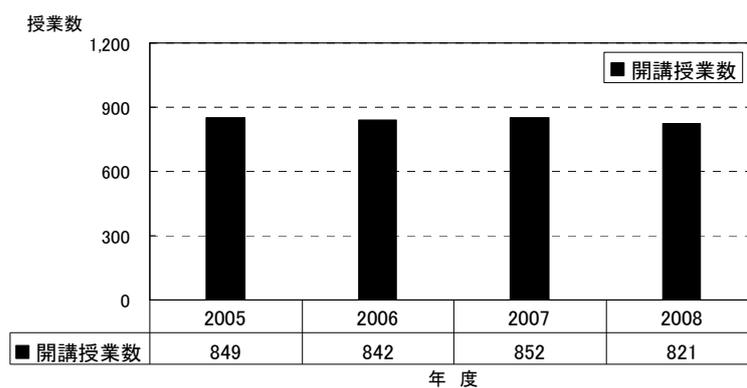


図 8. 2005 年度～2008 年度 情報教室を利用した授業数の推移

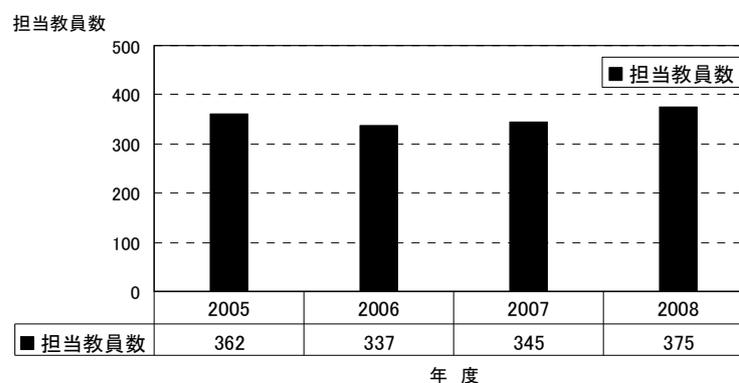


図 9. 2005 年度～2008 年度 情報教室を利用した授業の担当教員数の推移

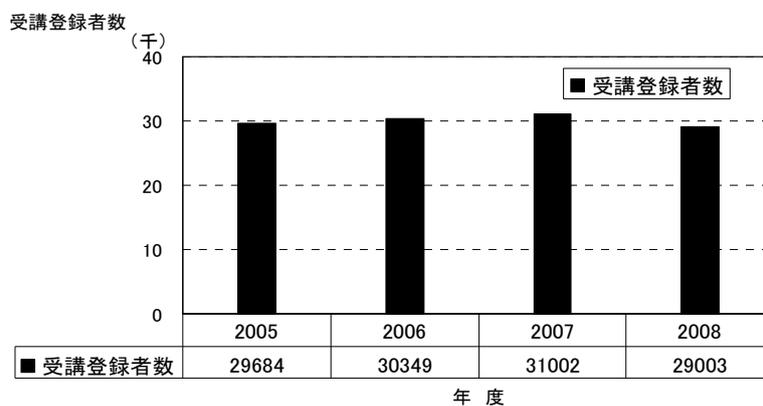


図 10. 2005 年度～2008 年度 情報教室を利用した授業の受講登録者数の推移

2-2-2 情報教室稼働率

情報教室の稼働状況について、衣笠キャンパスは情報教室により稼働率にばらつきがあり、平均稼働率は45.5%である。一方、びわこ・くさつキャンパスについては、全情報教室の稼働率が50%を超えており、平均稼働率は69.1%である。朱雀キャンパスは16.4%である。また、びわこ・くさつキャンパスについては、語学の授業で利用する情報教室の稼働率が高い。

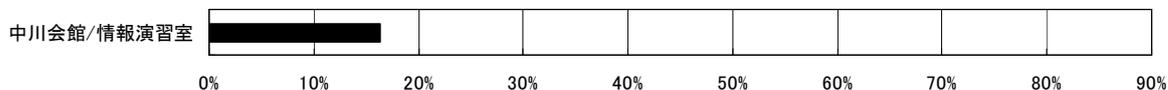


図 11. 朱雀キャンパス 情報教室の稼働率

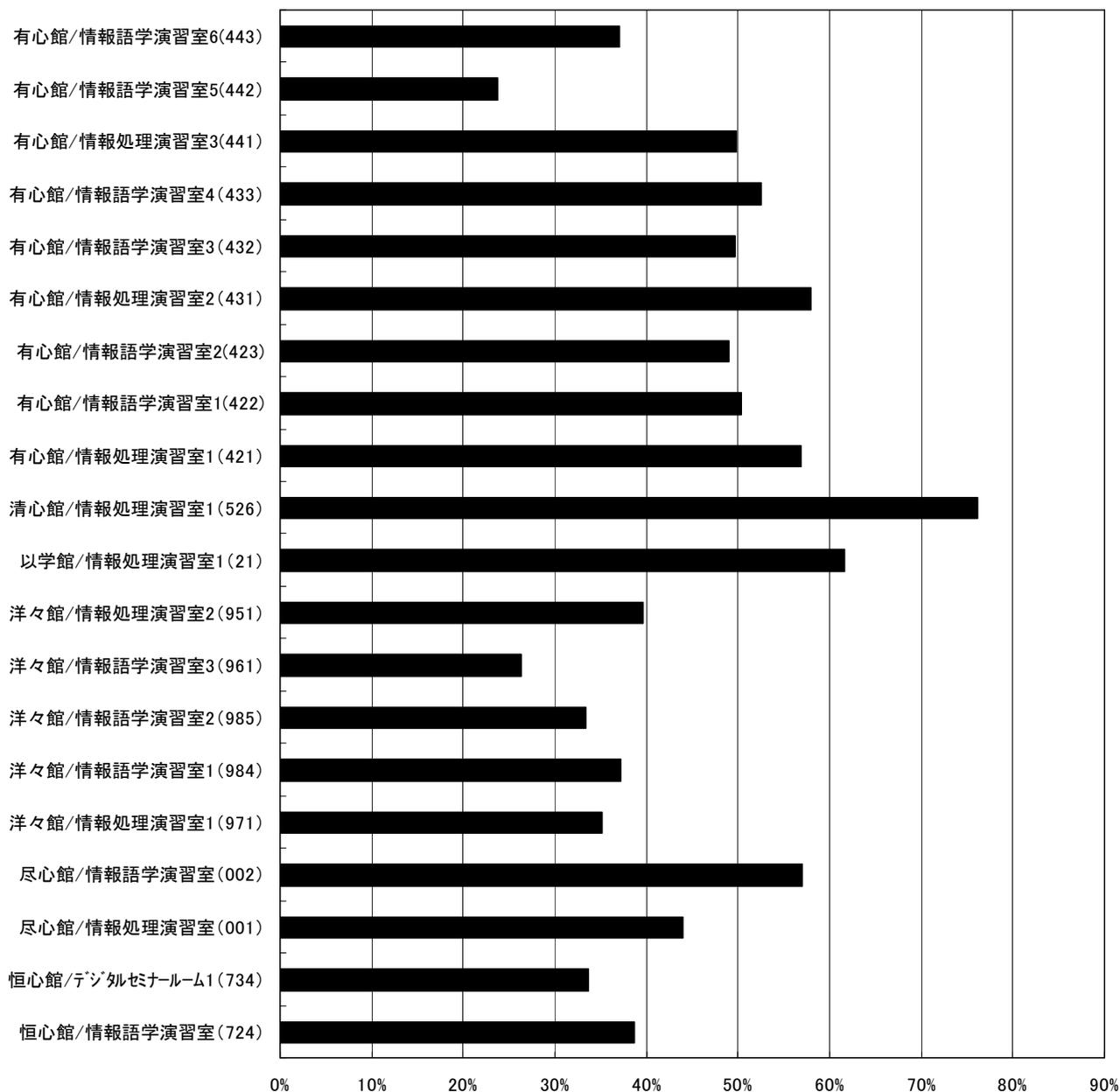


図 12. 衣笠キャンパス 情報教室の稼働率

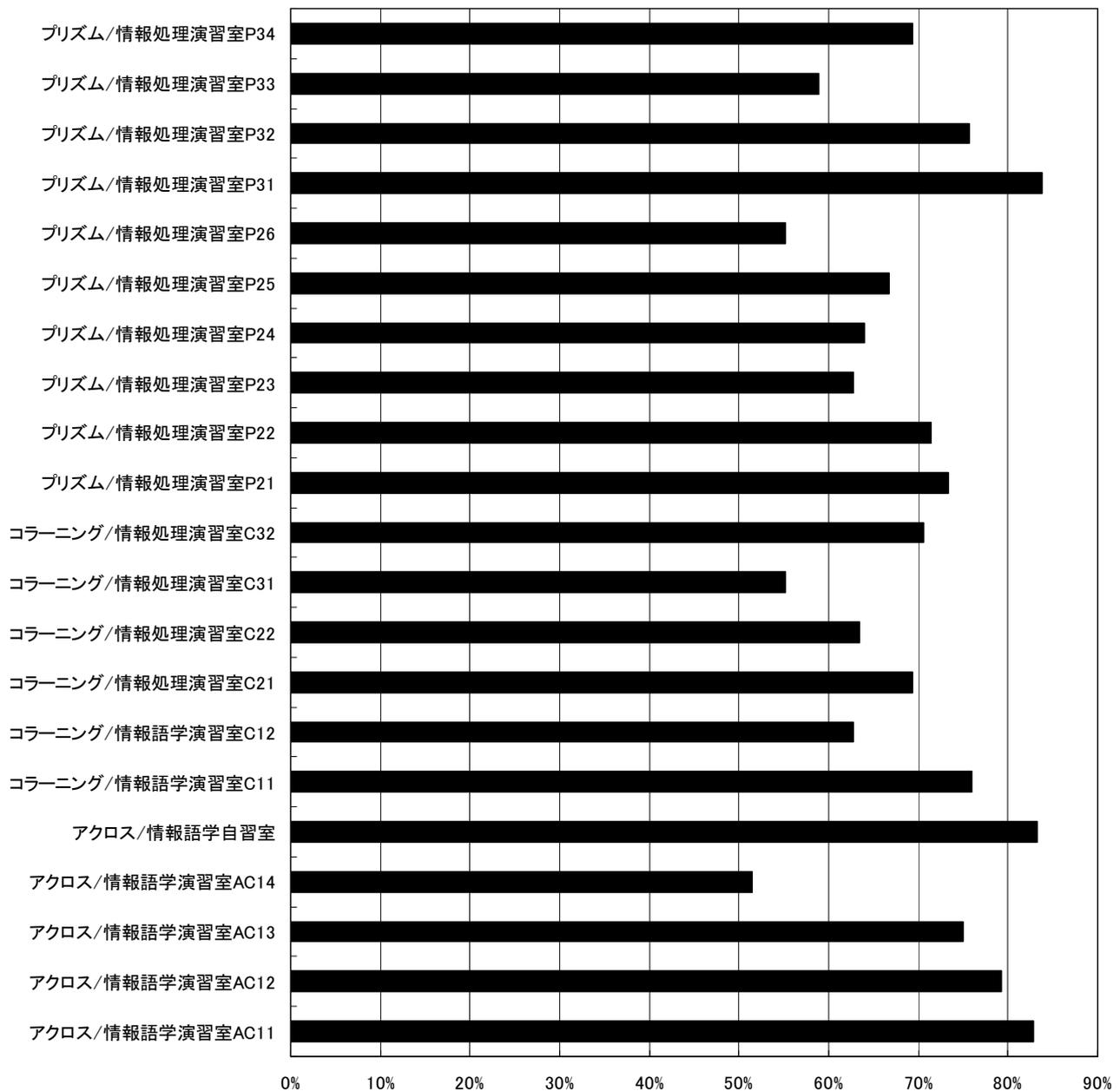


図 13. びわこ・くさつキャンパス 情報教室の稼働率

※開講期間中の授業日（不足分授業日を含む）の1限～5限（理系1限～10限）までを対象とし、情報教室の予約状況より稼働率を算出した。機器メンテナンスでの利用などは算出の対象としていない。

※アクロスウイング語学自習室は、自学自習用だけではなく、授業でも利用されているため算出対象とした。

2-2-3 遠隔講義科目数

研究科	科目数
言語教育情報研究科	24
テクノロジー・マネジメント研究科 (MOT)	15
法務研究科	1
合計	40

※セメスター・クォーターを通して、遠隔講義システムを利用した授業を行っている科目数である。

図 14. 研究科別の遠隔講義科目数

2-3 情報教室およびマルチメディアルームでのWindows アプリケーション利用状況

2-3-1 Windows アプリケーション別年間のべ起動回数および実利用者数

ブラウザを中心としたインターネット利用や、レポート作成や課題を行うためのソフトウェアの利用が、情報教室、およびマルチメディアルームで上位を占めている。情報教室やマルチメディアルームのパソコンにインストールされているアプリケーションの数は年々増加傾向にあり、管理・運用も煩雑になってきている。

アプリケーションのスリム化が課題であるが、図 15 アプリケーション使用回数の増減だけではなく、各アプリケーションの導入経緯（同じ目的用のアプリケーションが複数インストールされているケース、Web 閲覧支援ツールとして導入したUDcolor Viewer 等）や、教員のニーズをどう汲み取っていくかの整理を行った上でスリム化を進めていく必要があると考える。

また、インストールされているアプリケーションの中には、利用者数によりライセンス費が決まるものもあるため、利用者数をライセンス購入の際の参考にできると考える。

順位	アプリケーション名	2008 年度			2007 年度
		使用回数	実利用者数	一人当たりの使用回数	使用回数
1	Microsoft Word	3,455,927	34,327	100.68	3,206,886
2	Internet Explorer	3,143,358	35,676	88.11	3,162,303
3	Adobe Acrobat Reader	3,114,682	34,257	90.92	2,015,912
4	Firefox	1,210,905	27,003	44.84	0
5	Microsoft Excel	1,071,636	24,944	42.96	1,013,200
6	Netscape	652,996	21,152	30.87	1,947,926
7	Microsoft PowerPoint	613,022	22,662	27.05	506,399
8	Microsoft Picture Manager	479,983	18,032	26.62	363,461
9	秀丸	369,179	16,966	21.76	441,570
10	Windows Media Player	225,581	12,501	18.05	239,703
11	DviOut	141,368	1,302	108.58	64,269
12	Adobe Illustrator	68,998	3,884	17.76	78,344
13	Solid Edge	64,086	824	77.77	68,355
14	Adobe Photoshop	59,118	4,435	13.33	63,733
15	WinShell for LaTeX	47,732	1,574	30.33	28,171
16	+Lhaca	43,151	3,394	12.71	47,844
17	Real Player	37,793	5,946	6.36	42,416
18	ArcMap	37,435	1,333	28.08	35,624
19	Adobe Acrobat Professional	35,989	5,260	6.84	25,905
20	SpeaK	34,600	1,471	23.52	0
21	SPSS	31,707	1,454	21.81	27,548
22	FFFTP	25,851	2,176	11.88	35,313
23	Borland C++ Builder	24,010	2,558	9.39	2,778
24	Active Perl	18,184	251	72.45	19,339
25	Dreamweaver	18,030	2,898	6.22	19,099
26	Mathematica	17,804	1,361	13.08	19,229
27	Cygwin	16,685	578	28.87	26,933
28	Google Earth	16,621	2,155	7.71	15,428
29	Tera Term Pro	14,150	2,272	6.23	14,745
30	Nastran	12,227	225	54.34	7,634
31	XYZZY	11,841	601	19.70	10,904
32	AutoCAD	10,832	408	26.55	4,156
33	Irfan View	10,662	796	13.39	13,505
34	Microsoft Visual Studio	10,334	1,023	10.10	56,846
35	Google SketchUp	9,936	660	15.05	0
36	Autodesk MAP	9,402	556	16.91	17,855
37	Adobe Premiere	7,609	583	13.05	6,726
38	MATLAB	7,495	365	20.53	6,300
39	PowerDVD	7,453	1,134	6.57	0
40	Windows Movie Maker	5,915	915	6.46	2,051
41	QuickTime Player	5,778	1,237	4.67	3,130
42	Microsoft Access	5,688	516	11.02	5,542
43	一太郎ビューワー	5,251	980	5.36	1,690
44	GSView	5,226	597	8.75	2,032
45	Coventor Ware	4,728	313	15.11	4,120
46	EPS-conv	4,531	436	10.39	1,114
47	Adobe GoLive	4,201	973	4.32	23,029

順位	アプリケーション名	2008 年度			2007 年度
		使用回数	実利用者数	一人当たりの 使用回数	使用回数
48	Mastercam	4,044	304	13.30	3,820
49	GNUPlot	3,996	338	11.82	3,402
50	ArcCatalog	3,708	501	7.40	6,387
51	MDL ISIS/Draw	3,560	336	10.60	144
52	EViews	3,219	376	8.56	4,309
53	メタセコイア	2,987	247	12.09	2,356
54	Adobe ImageReady	2,718	846	3.21	2,572
55	GIMP	2,714	835	3.25	1,916
56	Vector Works	2,438	102	23.90	2,250
57	MacroMedia Flash	2,154	227	9.49	3,296
58	STATA	1,650	347	4.76	345
59	R	1,428	255	5.60	626
60	AMOS	1,302	308	4.23	1,299
61	茶筌	915	164	5.58	448
62	NQCEdit	910	106	8.58	1,100
63	POV-Ray	892	410	2.18	1,638
64	AudaCity	735	249	2.95	886
65	ArcScene	734	80	9.18	130
66	MARC(Designer)	723	169	4.28	1,171
67	Python	722	107	6.75	496
68	GV	657	260	2.53	918
69	PictureViewer	653	260	2.51	284
70	Adobe InDesign	590	260	2.27	570
71	Fireworks	558	112	4.98	981
72	カシミール3D	540	265	2.04	1,330
73	EViews(英語版)	508	47	10.81	296
74	SAS	490	84	5.83	1,588
75	BNC World Edition	382	47	8.13	358
76	GMM	360	102	3.53	0
77	DocuWorks Viewer Light	336	105	3.20	446
78	今昔文字鏡	284	119	2.39	202
79	ArcGlobe	226	118	1.92	254
80	FormZ	226	69	3.28	280
81	Rasmol	220	88	2.50	158
82	GeoDa	190	101	1.88	460
83	Windows Media Encoder	190	114	1.67	274
84	MOUSECUR	162	79	2.05	200
85	AZ-Prolog	152	71	2.14	13,564
86	CAJ Viewer	144	33	4.36	0
87	UDcolor Viewer	140	74	1.89	166
88	WordSmith	138	31	4.45	108
89	Octave	122	22	5.55	608
90	RATS for Windows	118	45	2.62	152
91	DSP Changer	114	38	3.00	143
92	ArcReader	96	46	2.09	96
93	TSP	94	43	2.19	161
94	Ghostscript	90	30	3.00	120
95	Idrisi	76	51	1.49	1,682
96	SPSS Smart Viewer	52	26	2.00	42
97	Poet-Stock	18	3	6.00	2
98	LINDO Super	14	12	1.17	22

図 15. Windows アプリケーション使用回数

※算出対象としている施設は、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、朱雀キャンパスの情報教室およびマルチメディアルームである。

※対象施設には、全 164 種のアプリケーションがインストールされている。そのうち、利用統計ツールで使用回数を算出できるアプリケーションは 99 種類で、これらのアプリケーションのうち 1 回でも使用されたアプリケーションを算出対象としている。

※1度も使用されなかったアプリケーションは、びわこ・くさつキャンパスの特定教室にのみにインストールされている Poet-SB(金融・資産分析) である。

2-3-2 Windows アプリケーションのマルチメディアルーム別実利用者数

衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、朱雀キャンパスのマルチメディアルームにおける、Windows アプリケーションの実利用者数を算出した。結果は、別冊の図 63～65 を参照。

2-4 マルチメディアルーム（自学・自習のためのオープンパソコンルーム）利用状況

学生・院生がパソコンを使用し、自学・自習を行えるマルチメディアルームを整備している。整備場所・パソコン台数は、図 62。マルチメディアルーム RAINBOW パソコン設置台数を参照。

マルチメディアルームの実利用者数（図 17）は、2005 年度から 2008 年度にかけてほぼ同じ数で推移しているが、一利用者あたりのログイン数は、2005 年度 36 回から 2008 年度 45 回へと増加している。

学部について、国際関係学部、政策科学部は、2005 年度から実利用者数が増加傾向を示しているが、学生数の増加に比例した利用増と考えられる。理工学部の実利用者数は減少傾向を示しているが、各年度の学生数と比較すると、利用率（理工学部の実利用者数÷理工学部生数）はわずかながら増加していた。また、文学部において、実利用者数はあまり変化が見られないが、のべログイン数は増加傾向を示しており、マルチメディアルーム利用者の 1 人あたりのログイン回数が増えている。さらに、学内でのネットワーク利用環境として、マルチメディアルームの利用と無線 LAN 接続があるが、国際関係学部および政策科学部については、マルチメディアルームの利用に比べ、無線 LAN の利用が多いことが特徴的である（図 28、図 29 参照）。

研究科については、理工学研究科の利用が多いことが図 21、図 22 では目立つが、利用率（実利用者数÷研究科の学生数）は、他研究科と大きな差はない。例として、文学研究科の利用率は 56.7%、理工学研究科は 58.6%である。

2-4-1 2005 年度からのマルチメディアルーム年間ログイン数および実利用者数の推移

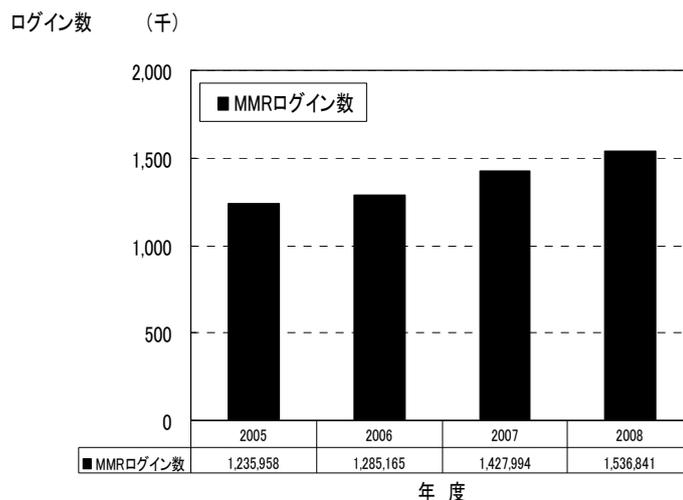


図 16. 2005 年度～2008 年度マルチメディアルームログイン数の推移

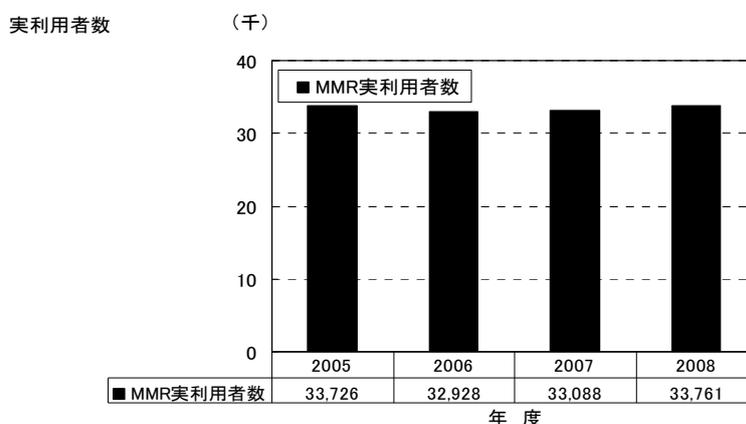


図 17. 2005 年度～2008 年度マルチメディアルーム実利用者数の推移

2-4-2 学部・研究科別マルチメディアルーム年間ログイン数および実利用者数の推移

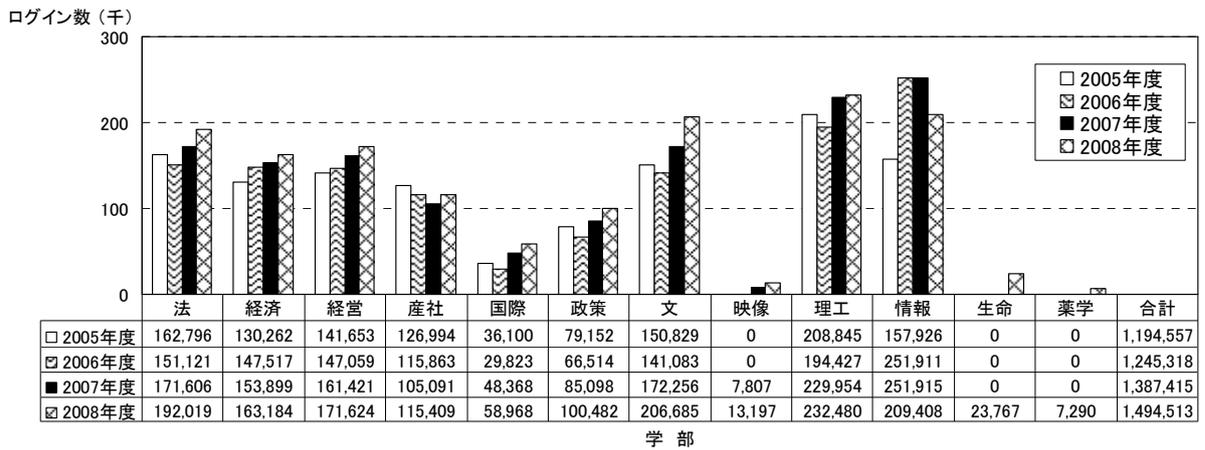


図 18. 2005 年度～2008 年度 学部別マルチメディアルームログイン数の推移

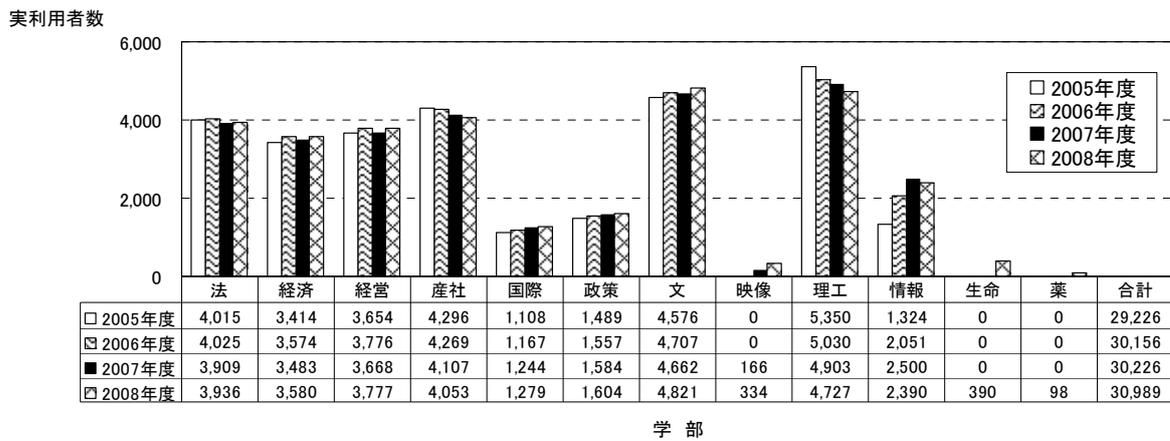


図 19. 2005 年度～2008 年度 学部別マルチメディアルーム実利用者数の推移

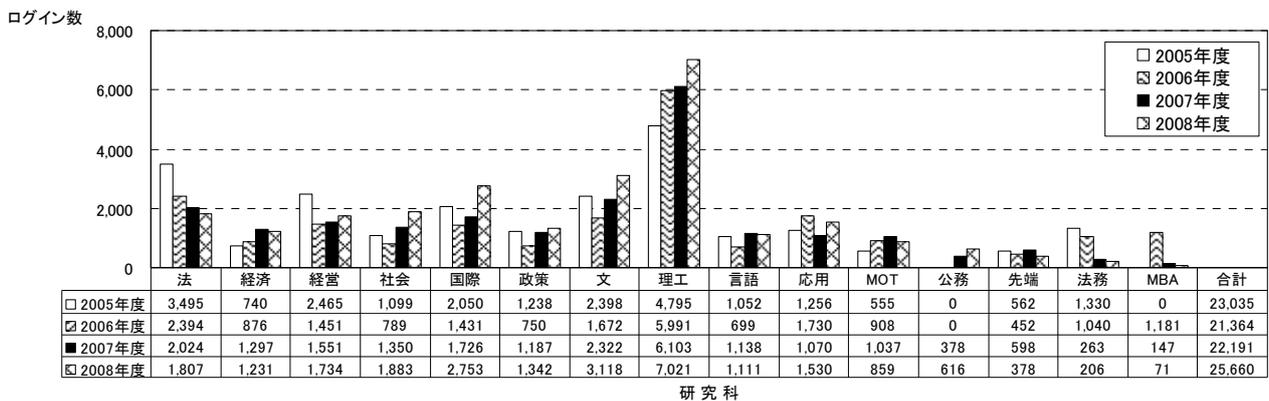


図 20. 2005 年度～2008 年度 研究科別マルチメディアルームログイン数の推移

実利用者数

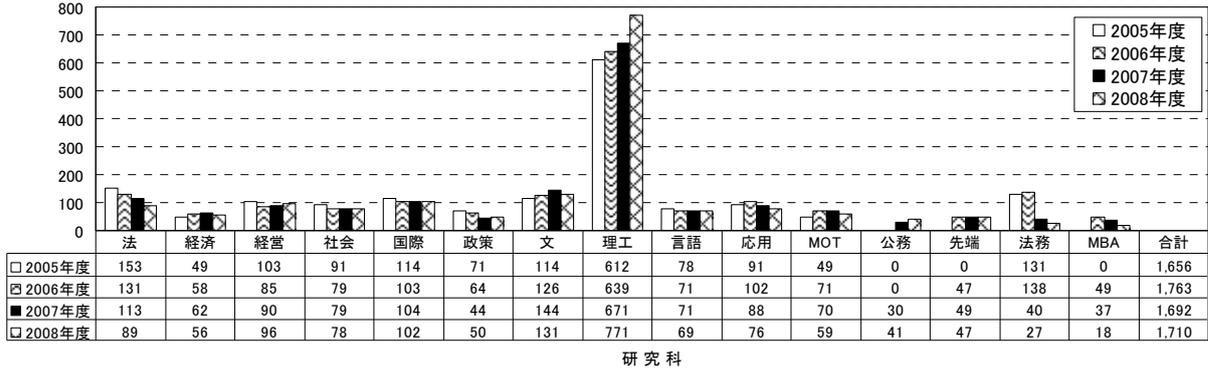


図 21. 2005 年度～2008 年度 研究科別マルチメディアルーム実利用者数の推移

※算出対象としているマルチメディアルームは、以下の7箇所。

衣笠：図書館、存心館、尽心館、洋洋館

BKC：メディアライブラリ、メディアセンター、アクロスウイング1F（2008年9月よりプリズムハウス1Fへ移設）

2-4-3 学部・研究科別年間のべ印刷枚数および一人あたりの印刷枚数の推移

一人あたりの印刷枚数は、学部・研究科により差があることがわかる。全学部・研究科のなかで、法務研究科、公務研究科の一人あたりの印刷枚数が多いことが図 25 よりわかる。特に法務研究科の印刷枚数が突出して多い。

法務研究科については、研究科独自で運用しているコースツールに掲載される講義レジュメやデータベース検索内容の印刷を予習・復習のために行っていることが、他学部・研究科に比べて印刷枚数が多い理由にあげられる。

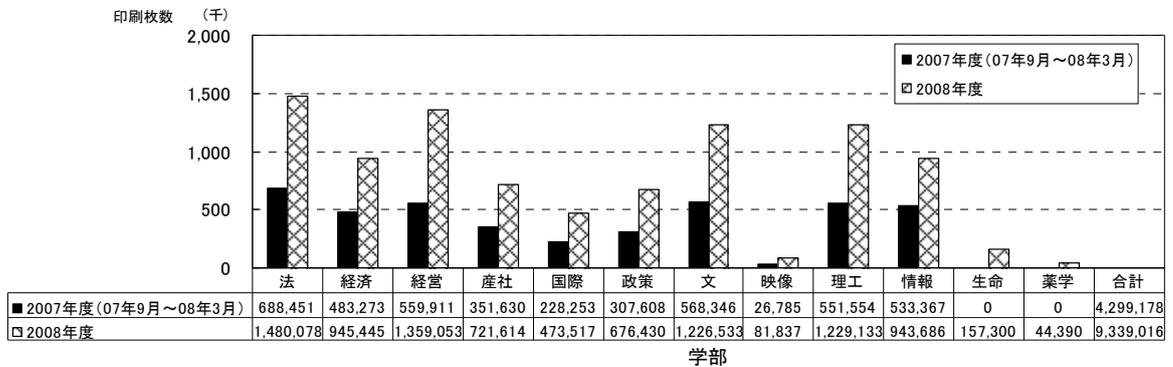


図 22. 学部別の印刷枚数推移

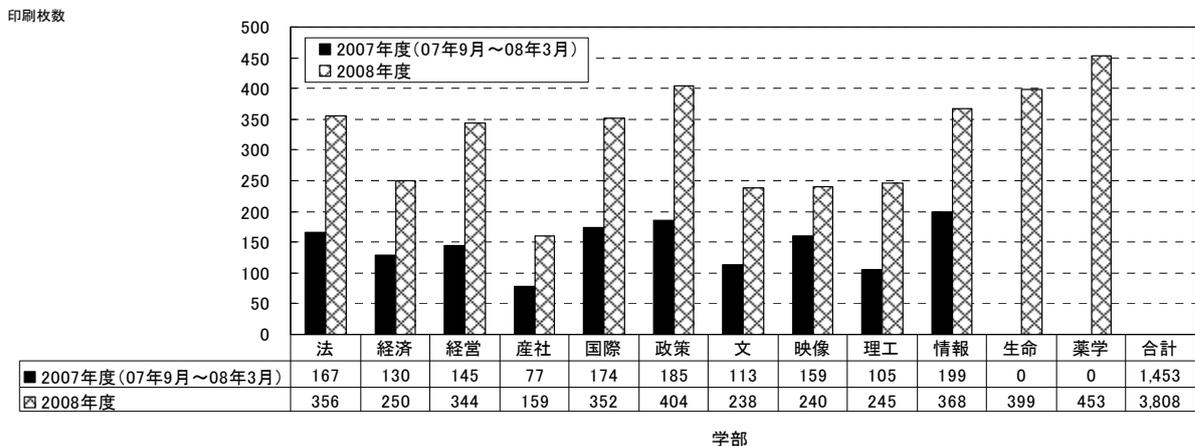


図 23. 学部別の一人あたりの印刷枚数

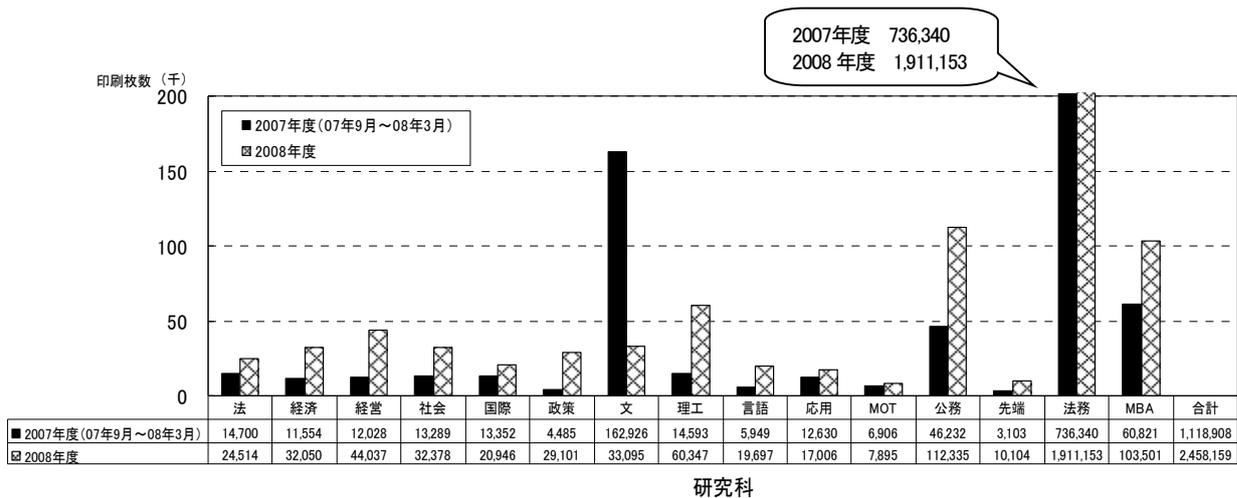


図 24. 研究科別の印刷枚数推移

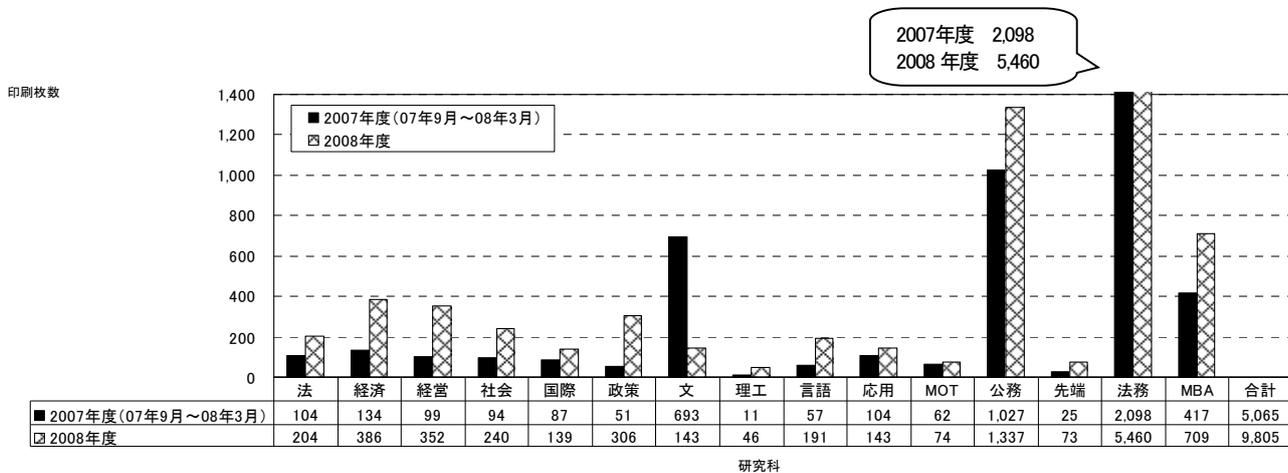


図 25. 研究科別の一人あたりの印刷枚数

※2007年9月より、印刷出力の利用実態を把握する目的とし、印刷枚数をカウントすることができる印刷管理システムを導入した。

※2007年度の印刷枚数は、2007年9月～2008年3月までの数である。

※算出対象としている施設は、以下の9箇所。

衣笠：図書館、存心館、尽心館、洋洋館のマルチメディアルーム

BKC：メディアライブラリ、メディアセンター、アクロスウイング1F（2008年9月よりプリズムハウス1Fへ移設）のマルチメディアルーム

朱雀：マルチメディアルーム、中川会館地下1Fワーキングルーム

※ここで使用されている枚数とは、面数（ページ）を指す。

2-5 無線 LAN

2005年度から2008年度にかけて、年間のベログイン数・実利用者数ともに増加傾向を示している。ログイン数は約1.4倍、実利用者数は約2倍の増加である。学部生の実利用者数は、全学部において2005年度から増加傾向にある。研究科については、科により増減の差がある。その中で、図30、図31より法務研究科の無線LAN利用が目立って多いことがわかるが、法務研究科における2008年度の一利用者あたりの利用回数は400回を超えている。

法務研究科での利用状況については、24時30分まで開室している朱雀キャンパス・中川会館の自習室で無線LANに接続し、予習・復習を行っていることが理由として考えられる。同研究科では、独自のコースツールを導入しており、事務室からのお知らせ、レジュメ配布を行うなどポータル的な位置づけで利用されており、学生が必ずアクセスする状況が無線LANの利用状況にも反映されていると考えられる。

また、無線LANの利用に関して、現在では一般教室における授業内での利用や研究目的での利用も増えてきている。もともと、無線LANはマルチメディアルームでのパソコンの利用の他に、ラウンジ等でインターネット接続ができる環境を学生に提供するために導入された経緯がある。また、一般教室においてもユーザー自身のノートパソコンを持ち込んでネットワークに接続することができるよう整備を行ってきたが、多くのユーザーが同時接続できる仕様にはなっていない。一般教室での同時接続が増加している今、1アクセスポイントあたり対応可能なユーザー数を超えて利用されるケースも発生しており、アクセスポイントの増設要求も出ている。しかし、アクセスポイント増設については、近い距離にアクセスポイントを複数設置すると電波が干渉するという技術的な問題があり、設置可能な台数には制限がある。

さらに、これまでは教室やラウンジ等を中心に整備を行ってきたが、研究施設での無線LAN利用の要望も出てきており、今後の整備方針について検討が必要であると考えられる。学生の無線LAN利用については、マルチメディアルームの利用とも密接に関係しており、今後、学生の学習環境としてどのような環境を求めていくのか、学生のパソコン利用環境の調査を行う等、検討が必要である。

2-5-1 2005年度からの無線LAN年間のベログイン数および実利用者数の推移

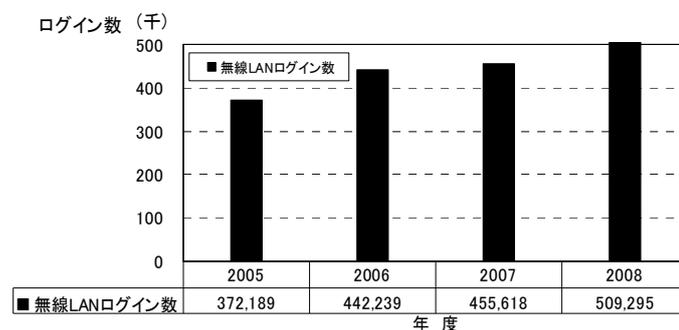


図26. 2005年度～2008年度 無線LANログイン数の推移

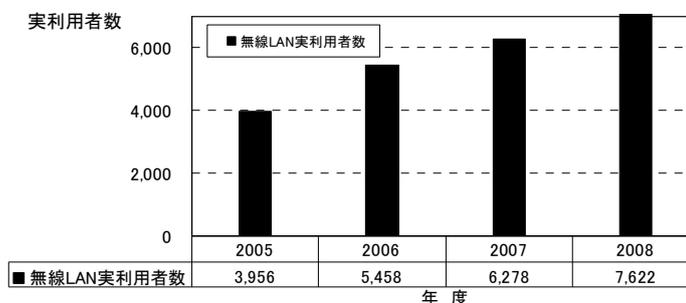


図27. 2005年度～2008年度 無線LAN実利用者数の推移

2-5-2 学部・研究科別無線 LAN 年間のペロログイン数および実利用者数の推移

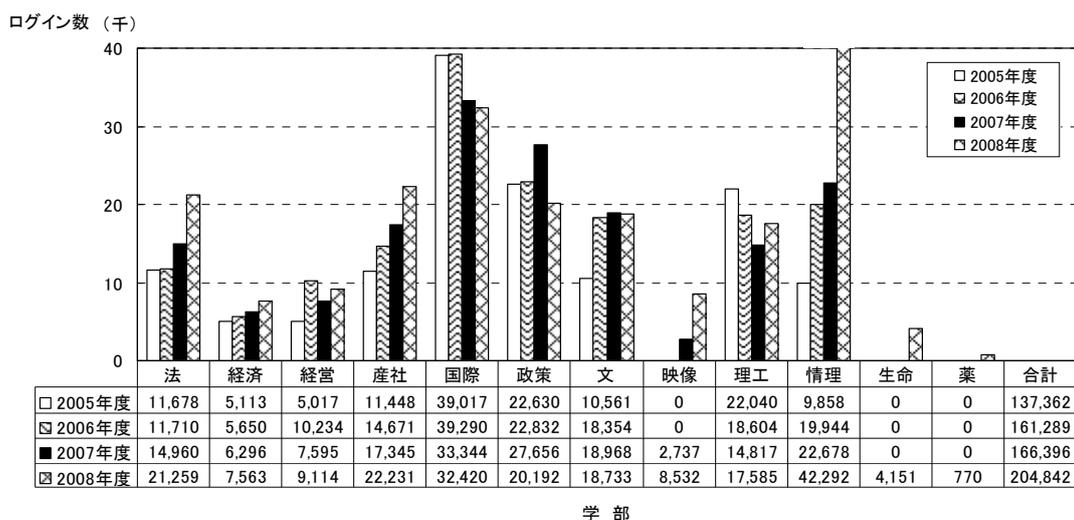


図 28. 2005 年度～2008 年度 学部別無線 LAN ログイン数の推移

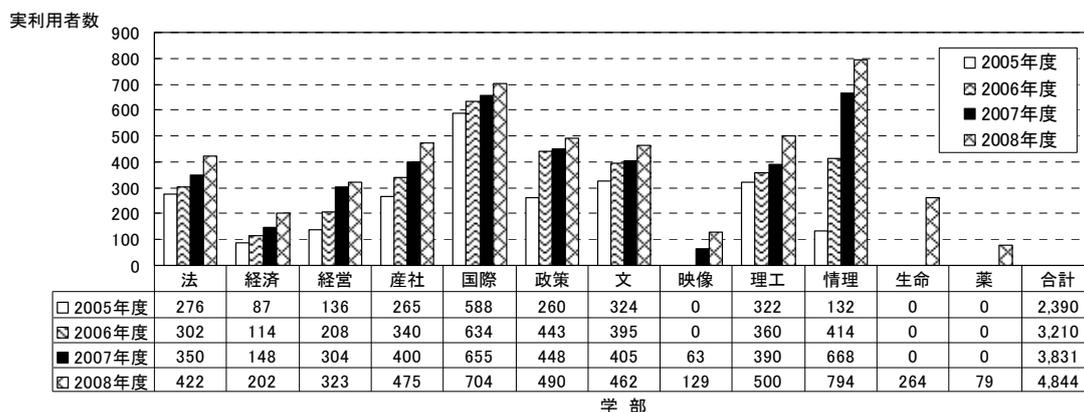


図 29. 2005 年度～2008 年度 学部別無線 LAN 実利用者数の推移

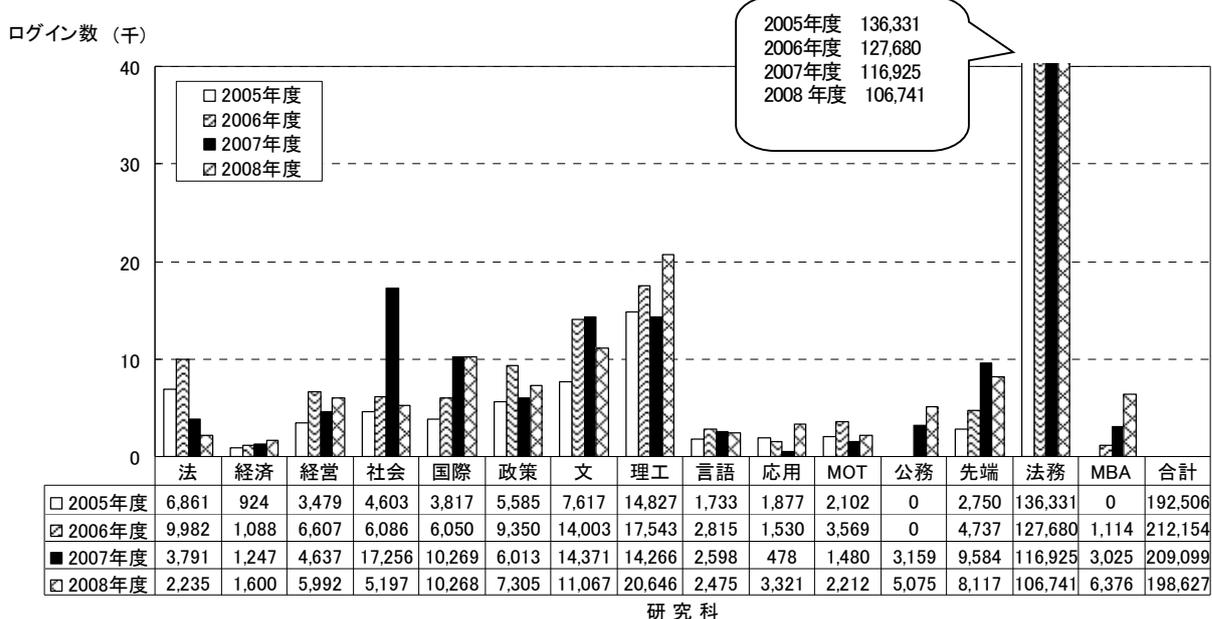


図 30. 2005 年度～2008 年度 研究科別無線 LAN のペロログイン数の推移

実利用者数

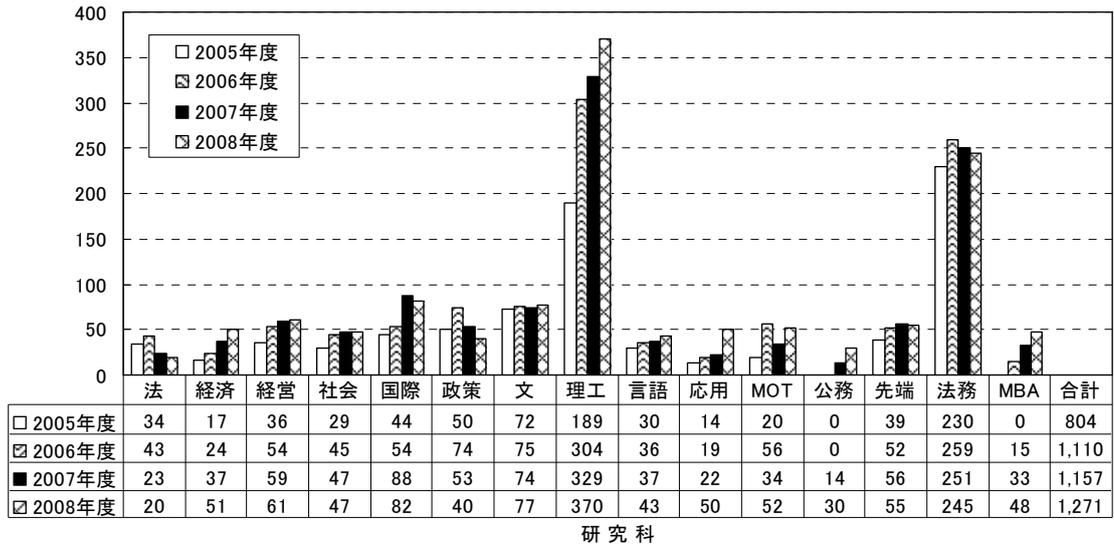


図 31. 2005 年度～2008 年度 研究科別無線 LAM 実利用者数の推移

2-6 VPN 接続

VPN とは「Virtual Private Network」の略で、自宅や外出先など学外からインターネットを使って RAINBOW に接続することができるサービスである。学内のパソコン（マルチメディアルームや情報教室）からしか利用できないコアデータベースなどのサービスがブロードバンド環境から利用できる。

2005 年度から 2008 年度にかけて、年間のベログイン数・実利用者数ともに緩やかに増加傾向を示している。ログイン数は約 1.6 倍、実利用者数は約 2 倍の増加である。実利用者が一桁の学部・研究科もあり、所属により利用状況の差がみられる。

研究科においては、図 36、図 37 より理工学研究科と経営管理研究科の利用が多いことがわかるが、一利用者あたりの利用回数は、理工学研究科が約 20 回、経営管理研究科が約 70 回という状況である。

2-6-1 2005 年度からの VPN 接続無線年間のベログイン数および実利用者数の推移

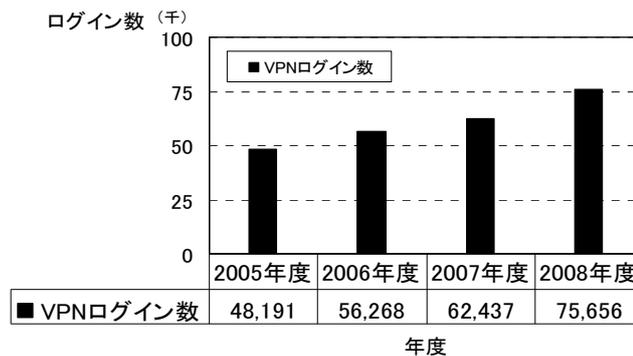


図 32. 2005 年度～2008 年度 VPN 接続のベログイン数の推移

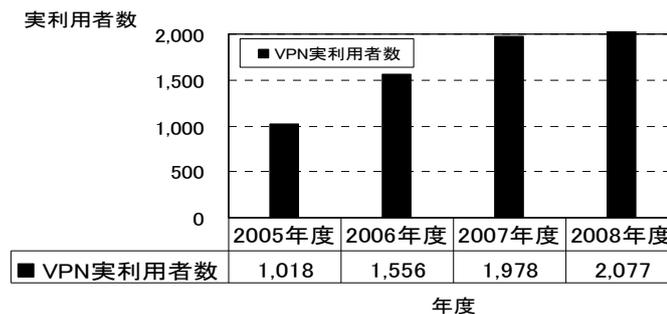


図 33. 2005 年度～2008 年度 VPN 接続実利用者数の推移

2-6-2 学部・研究科別 VPN 接続年間のペログイン数および実利用者数の推移

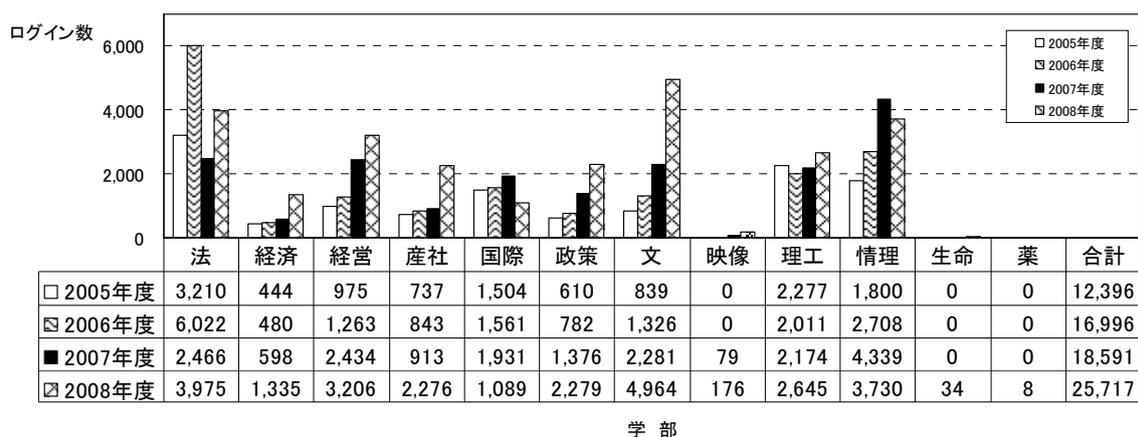


図 34. 2005 年度～2008 年度 学部別 VPN 接続のペログイン数の推移

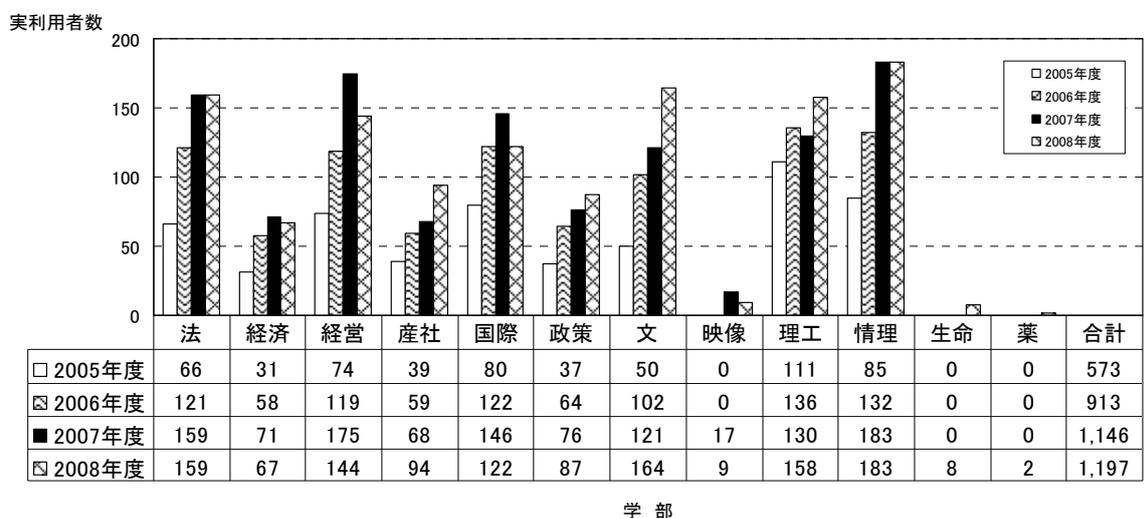


図 35. 2005 年度～2008 年度 学部別 VPN 接続実利用者数の推移

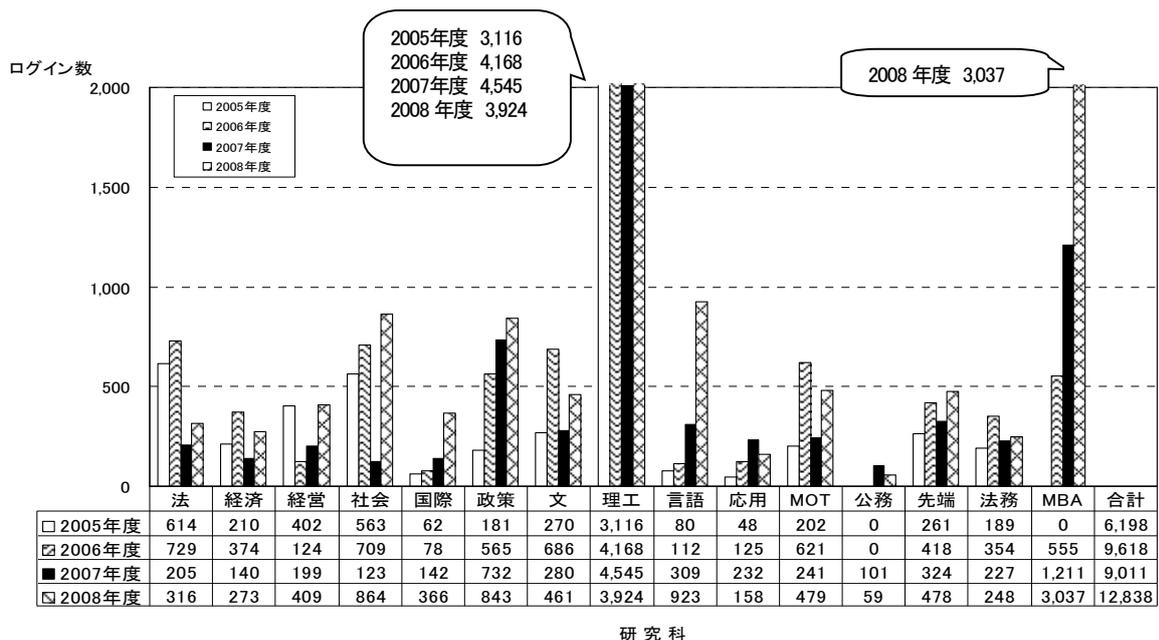


図 36. 2005 年度～2008 年度 研究科別 VPN 接続のペログイン数の推移

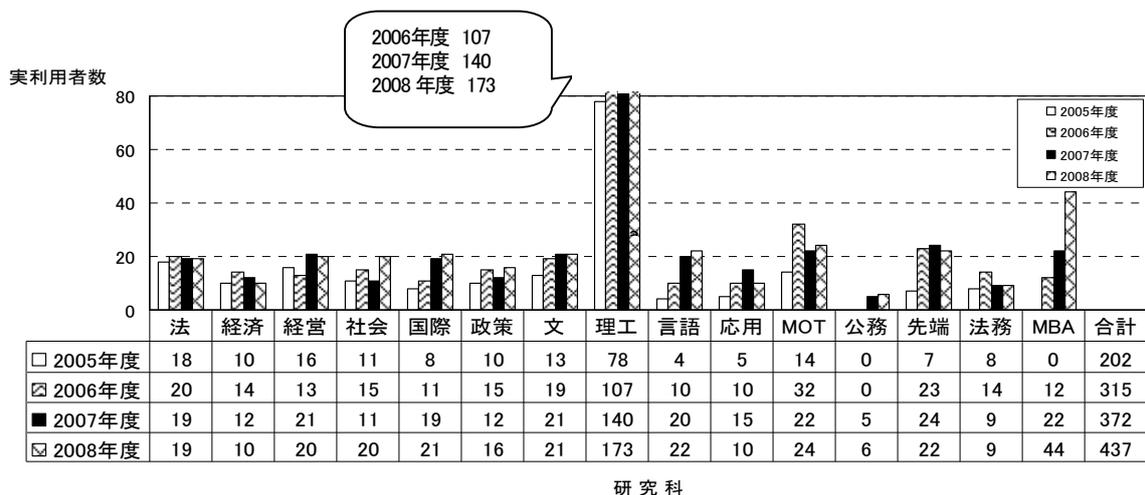


図 37. 2005 年度～2008 年度 研究科別 VPN 接続実利用者数の推移

2-7 WebMAIL

2005 年度から WebMAIL の実利用者数は増加傾向にあるが、増加率は年々減少傾向にある。また、ログイン数についても 2007 年度から 2008 年度にかけて減少している。実利用者数の増加は、学生数が増加しているためだと考えることができるが、ログイン数の減少については、携帯電話のメールアドレスや、個人で取得しているメールアドレスでメールを受信できるようにする転送機能を利用して、メールを確認するユーザーが増えているのではないかと考えられる。2009 年 6 月 19 日現在、37.8%の学生が転送機能を利用している。

図 42、43 より、研究科のなかでは理工学研究科の利用が多いことが目立つが、利用率（実利用者数÷研究科の学生数）は、他研究科と大きな差はない。

2006 年度より携帯電話からの WebMAIL 利用を開始したが、WebMAIL の年間のべログイン数に対して、携帯電話からの利用はその数の 1%に満たない状況が続いている。

2-7-1 2005 年度からの WebMAIL 年間のべログイン数および実利用者数の推移

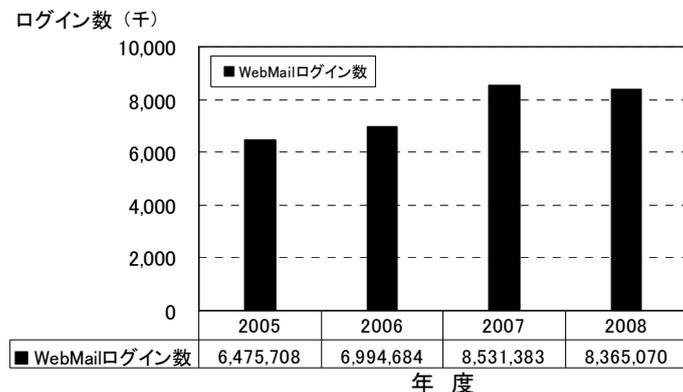


図 38. 2005 年度～2008 年度 WebMAIL のべログイン数の推移

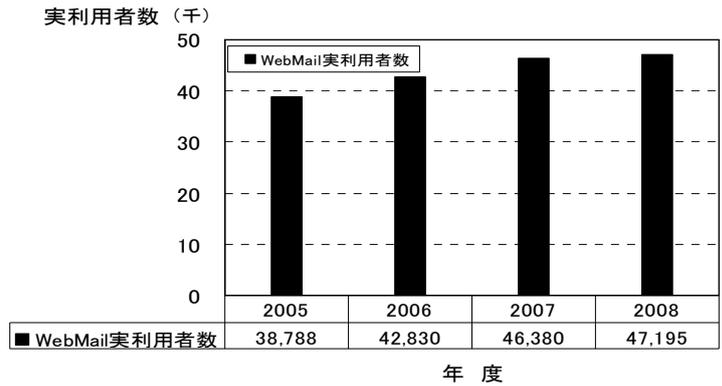


図 39. 2005 年度～2008 年度 WebMAIL 実利用者数の推移

2-7-2 学部・研究科別 WebMAIL 年間のペログイン数および実利用者数の推移

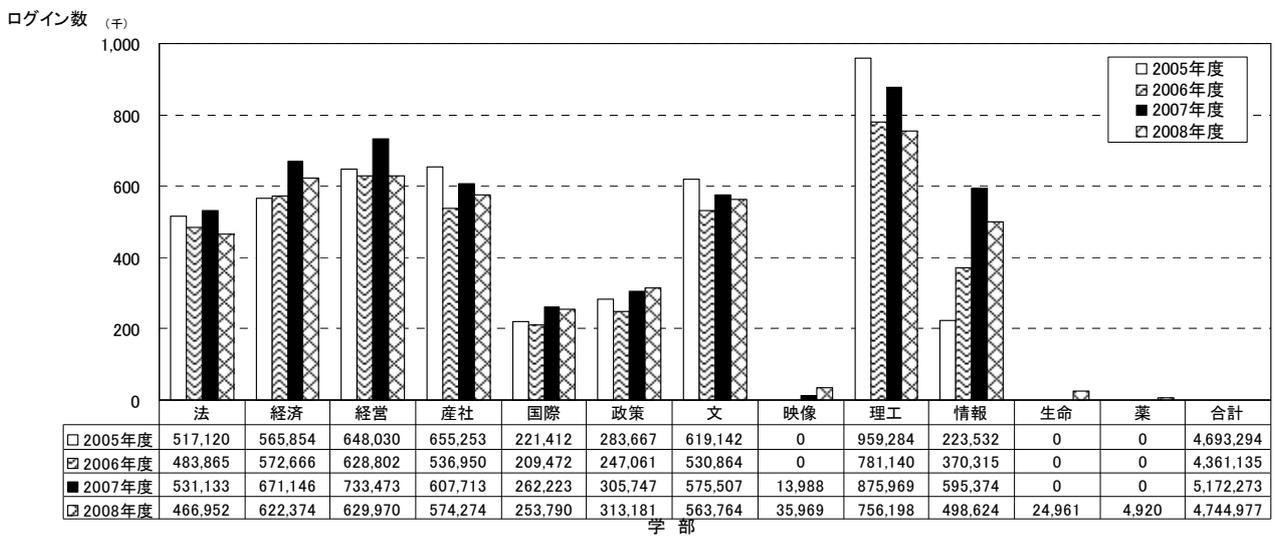


図 40. 2005 年度～2008 年度 学部別 WebMAIL 年間のペログイン数

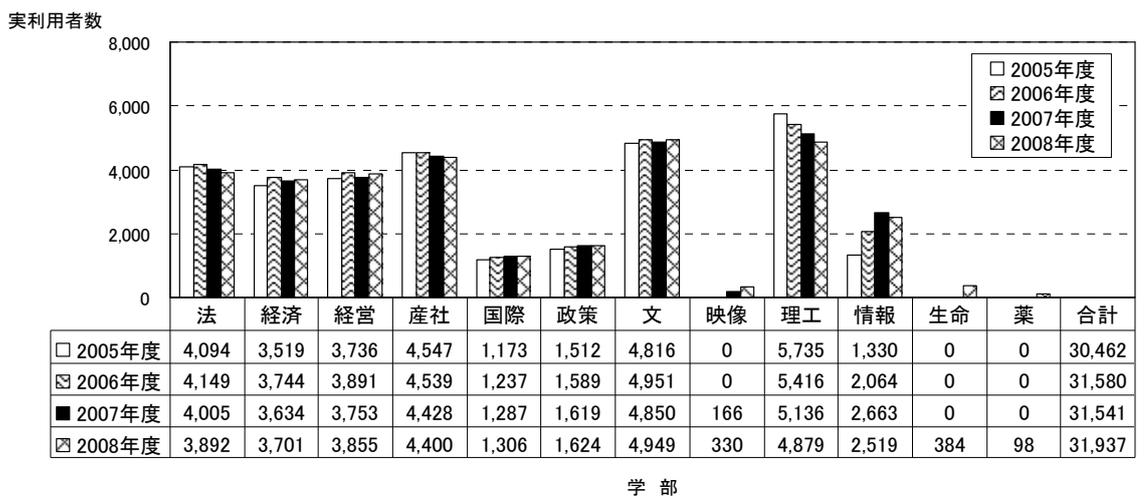


図 41. 2005 年度～2008 年度 学部別 WebMAIL 実利用者数

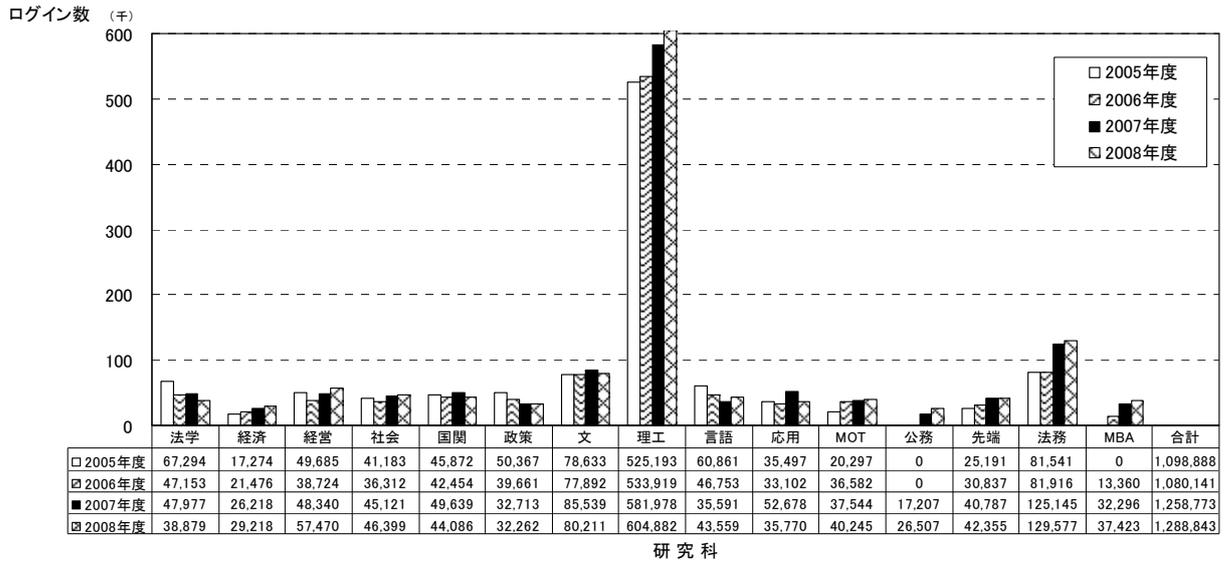


図 42. 2005 年度～2008 年度 研究科別 WebMAIL のペログイン数

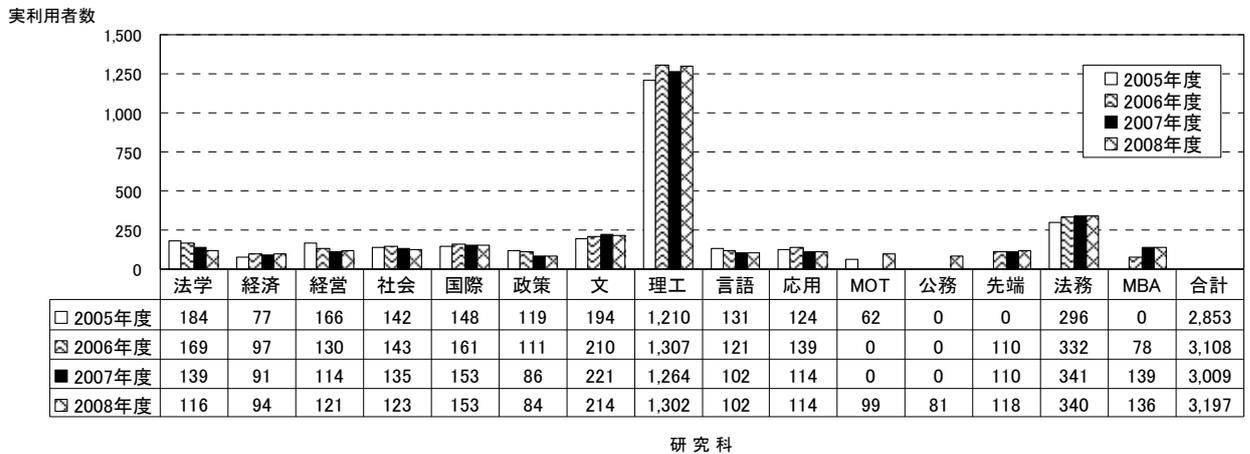


図 43. 2005 年度～2008 年度 研究科別 WebMAIL 実利用者数

2-7-3 携帯電話からの WebMAIL 利用数の推移

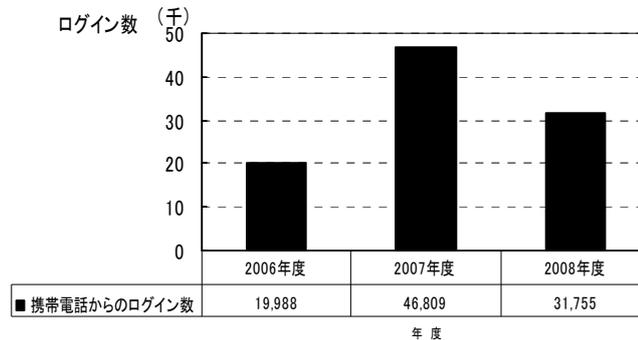


図 44. 2006 年度～2008 年度 携帯電話からの WebMAIL 利用数の推移

※携帯電話からの利用数は、携帯電話用 URL にアクセスした数を示している。

2-7-4 迷惑メール対策について（スパムメール数の推移）

2007年5月末に職員宛てのメール、同年7月初旬に学生・教員宛てのメールに対して迷惑メール対策を開始し、学外から立命館大学のメールシステムに送付されてくるメールの送付元のサーバの評判（レピュテーション値：Stopped by Reputation Filtering）に基づいて、迷惑メールかどうか判定をして流量制限処理を行っている。

学外から送付されるメール総数は2007年度から2008年度にかけて月平均で2.4倍に増加している。学外から送付されるメール総数のうち、迷惑メール（spam）と判定されたメールは、2007年度月平均約88%、2008年度月平均93%と割合が増加している。これは、学内に配送するメール流量を減少させるために、迷惑メール対策システムの設定（レピュテーション値：Stopped by Reputation Filtering）を厳しい内容に変更を行ったためである。今後も継続して、迷惑メールの流量が多くなることが予想されるため、迷惑メール対策サービスの設定を厳しく変更し、学内に配送する迷惑メールの量を減少させていくための措置を継続して検討する必要がある。

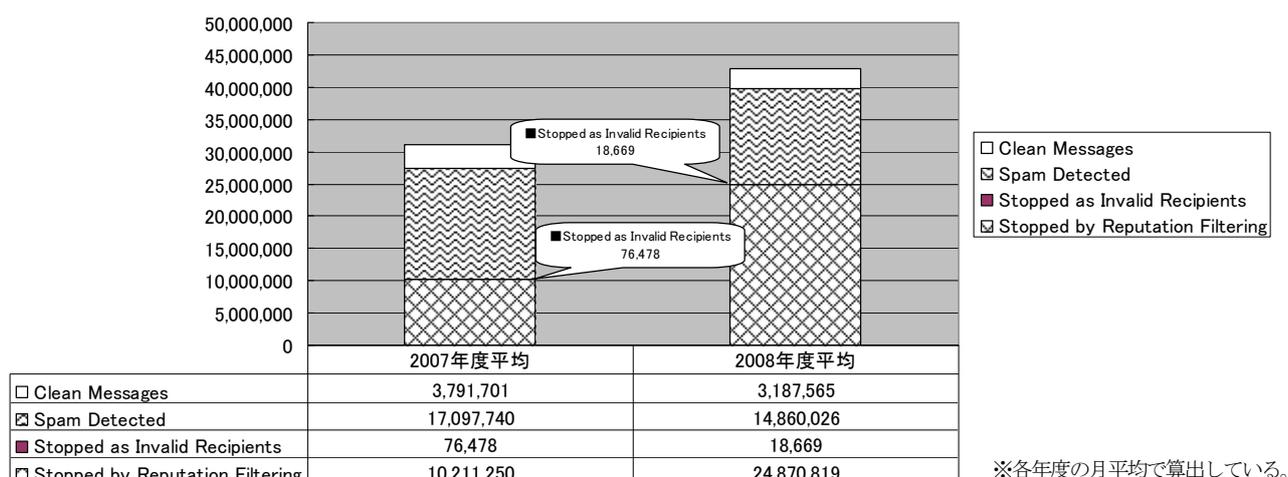


図 45. スパムメール数の推移

- 【参考】 Clean Message：迷惑メールではないメール
 Spam Detected：内容チェックの際に迷惑メール（spam）と判定され、標題に {spam} を付し配送されたメール
 Stopped as Invalid Recipients：立命館に存在しないアドレスで送信されたメール
 Stopped by Reputation Filtering：メール送信元のサーバの評判に基づいて流量制限処理がなされたメール

2-8 コースツール

2007年度から2008年度にかけて、年間のペロログイン数・実利用者数ともに増加傾向を示している。

図52. 2008年度開講科目の利用率より、1回以上アクセスのあった科目と1回もアクセスのなかった科目の割合は、2007年度と2008年度ではほぼ同じで、1回以上アクセスのあった科目は全開講科目の約80%、アクセスのなかった科目は約20%という割合であることがわかる。1回以上アクセスのあった科目は約80%であるが、図53. 開講科目別アクセス数の推移をみると、1回以上10回未満の科目が2007年度・2008年度ともに約40%を占めており、これらの科目は、アクセスがあったとしても授業で活用されているとは言い難い。

また、図54. 開講科目別の一人あたりのアクセス数の推移をみると、一人あたりのアクセス数が多い科目が増えていることが示されており、1回以上アクセスのある科目において、利用のある科目と利用のない科目に二分されることがわかる。これまで全開講科目一律の運用を行ってきたが、利用を希望する科目のみコースツールへ登録を行い利用する運用への転換を検討してもよいのではないかと考える。運用方針の転換により、大規模運用のため複雑になっていたシステム管理・運用の改善、ユーザー個別の要望にフレキシブルに対応できない現状の改善につながると思う。

さらに、別冊の図. 66、図. 67において、のべアクセス数上位50科目、科目への登録者一人あたりのアクセス数上位50科目における主な機能の利用状況を示している。科目により、電子掲示板を中心に利用している科目、小テストや課題提出機能を中心に利用している科目、それぞれの機能を組み合わせて利用している科目など、担当教員により利用方法は様々である。

2-8-1 2005年度からのコースツール年間のペロログイン数および実利用者数の推移

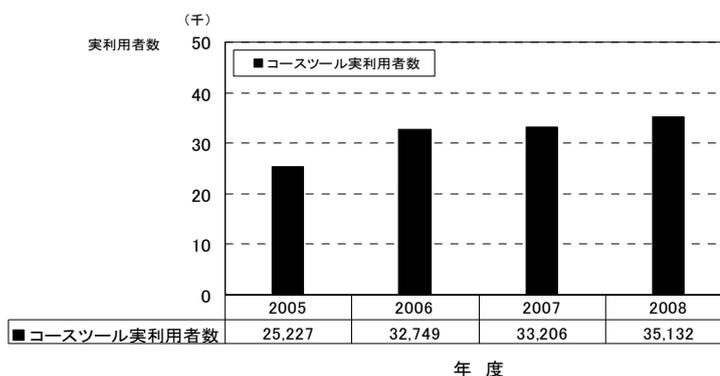


図46. 2005年度～2008年度 コースツールのペロログイン数の推移

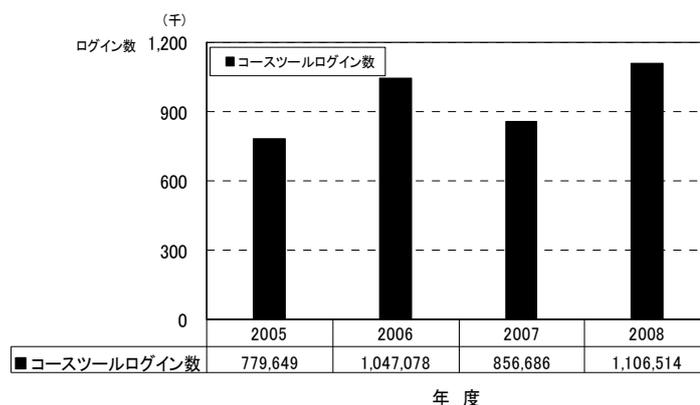


図47. 2005年度～2008年度 コースツール実利用者数の推移

2-8-2 学部・研究科別コースツール年間のペロログイン数および実利用者数の推移

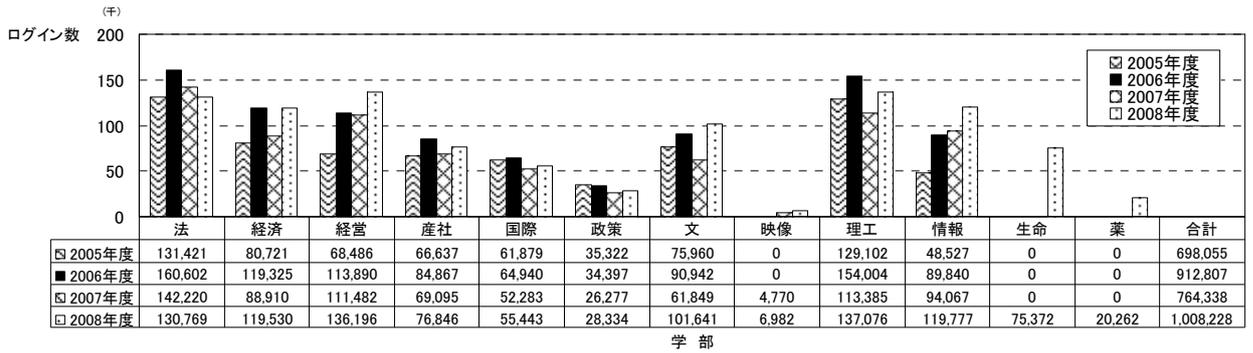


図 48. 2005 年度～2008 年度 学部別コースツールのペロログイン数の推移

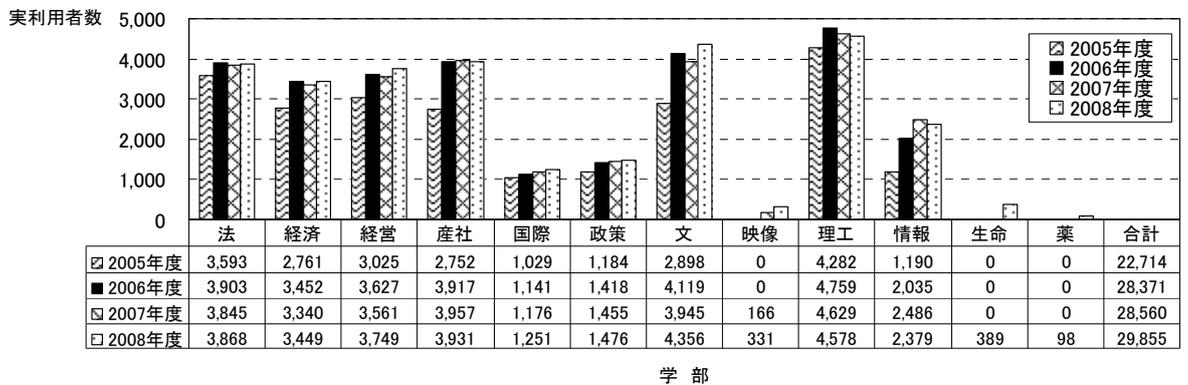


図 49. 2005 年度～2008 年度 学部別コースツール実利用者数の推移

2-8-3 研究科別コースツール年間のペロログイン数および実利用者数の推移

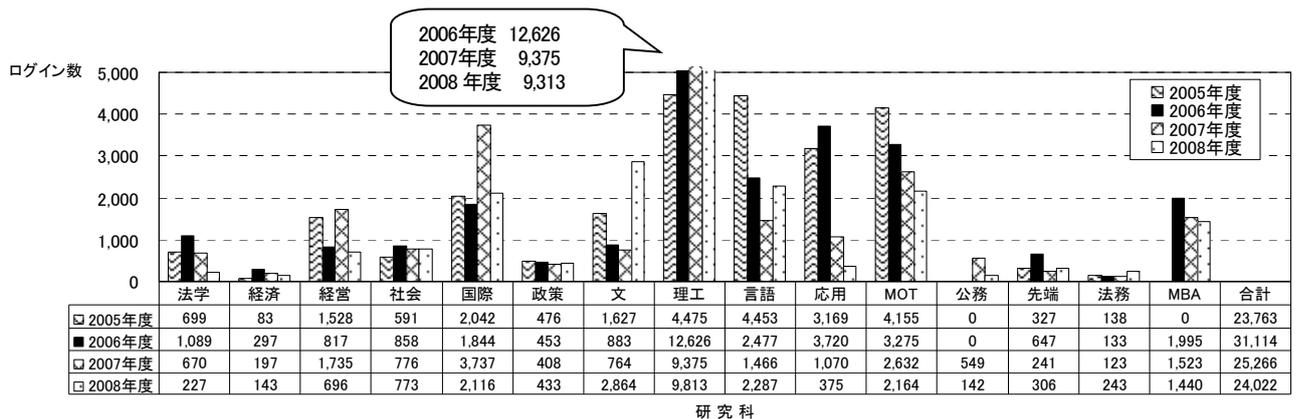


図 50. 2005 年度～2008 年度 研究科別コースツールのペロログイン数の推移

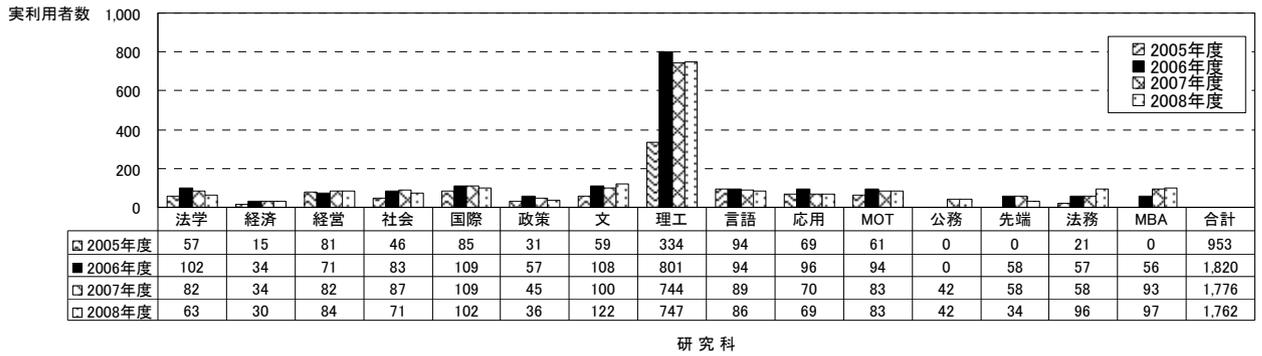
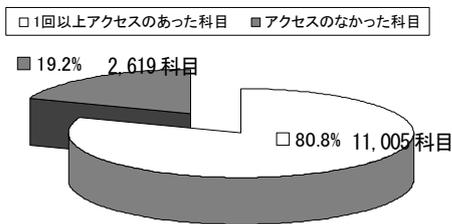


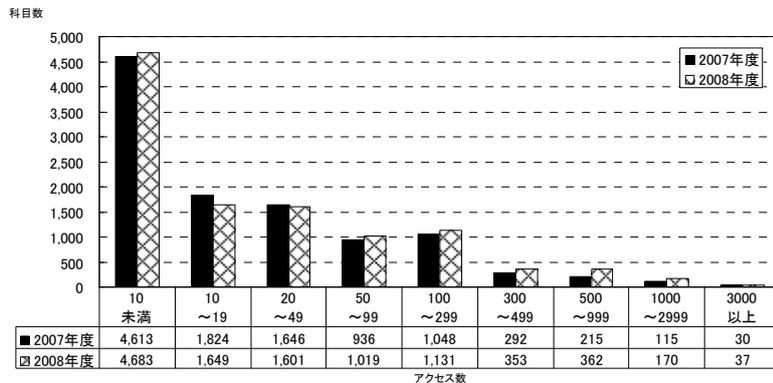
図 51. 2005 年度～2008 年度 研究科別コースツール実利用者数の推移

2-8-3 2008 年度開講科目別の利用状況



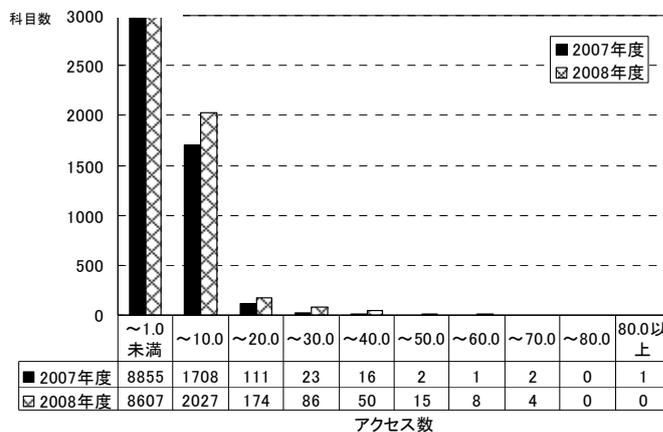
(参考)
 2007 年度開講科目の利用率
 ・1回以上アクセスのあった科目 80.3%
 ・アクセスのなかった科目 19.7%

図 52. 2008 年度開講科目の利用率



(注)
 ・年度中、1度もアクセスのなかった科目は算出対象としていない。
 ・アクセス数とは、ユーザーが1回のログインでアクセスした科目数をカウントしたもの(=科目あたりのべアクセス数)である。

図 53. 2007 年度～2008 年度 開講科目別アクセス数の推移



(注)
 ・年度中、1度もアクセスのなかった科目は算出対象としていない。
 ・アクセス数とは、ユーザーが1回のログインでアクセスした科目数をカウントしたもの(=科目あたりのべアクセス数)を科目への登録者数で割ったものである。
 ・科目への登録者数には、受講登録している学生のほか、担当教員、申請により登録されたTA・ES等も含む。

図 54. 2007 年度～2008 年度 開講科目別の一人あたりのアクセス数の推移

2-9 視聴覚資料・機器利用状況

2-9-1 視聴覚資料利用状況

図 55 より、文学部、言語、産業社会学部、非常勤講師の利用が全体の半分以上を占めており、学部・研究科等の所属で利用に偏りがあるといえるが、言語教育センターおよび非常勤講師については、大部分が衣笠キャンパスでの利用であると窓口の状況よりいえることから、所属よりも個人で利用に差があるのではないかと考えられる。

衣笠キャンパスでの利用がびわこ・くさつキャンパスに比べて多いが、理由としては、衣笠キャンパスでの資料保管数が多いこと（両キャンパスで資料を分割して保管しており、他キャンパスの資料を取り寄せることも可能）、びわこ・くさつキャンパスについては、窓口の地理的条件のせいか、もともと窓口に来訪する教員が少ないことが考えられる。

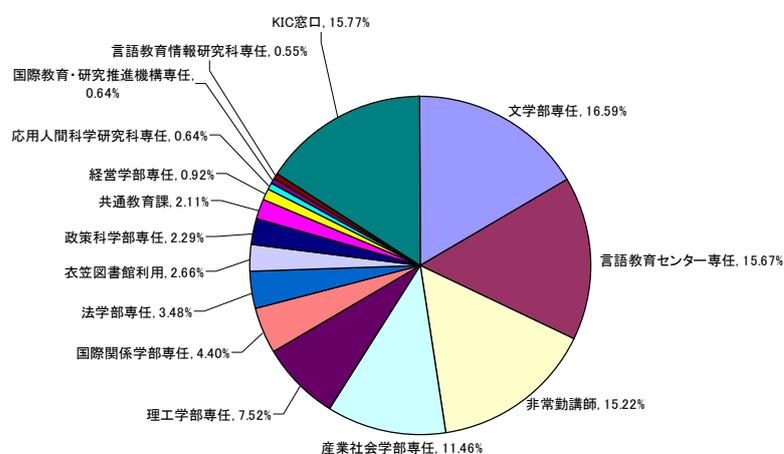


図 55. 所属別資料利用状況

所属	貸出数
文学部専任	181
言語教育センター専任	171
非常勤講師	166
産業社会学部専任	125
理工学部専任	82
国際関係学部専任	48
法学部専任	38
衣笠図書館利用	29
政策科学部専任	25
共通教育課	23
経営学部専任	10
応用人間科学研究科専任	8
国際教育・研究推進機構専任	7
言語教育情報研究科専任	6
KIC 窓口	172
計	1,091

図 56. 所属別貸出件数

※衣笠キャンパス:有心館1F および、びわこ・くさつキャンパス:アクロスウイング2FのRAINBOW サービスカウンター（旧情報システム課窓口）において、教室のマルチメディア環境で利用することができるビデオ、DVD などの視聴覚教材の貸出サービスを行っており、算出対象は、窓口で貸出を行っている授業教材用の視聴覚資料である。

※教員の所属について、専任教員は学部毎に、非常勤講師については所属に関わらず非常勤講師というグループで表している。

※「KIC 窓口」とは、衣笠キャンパスの窓口で予約取り置きされた件数および、視聴覚資料利用カード未発行者への貸し出し数を含んでいる。視聴覚資料の利用には、「視聴覚資料利用カード」が必要であり、初めて資料を利用する際にカード作成の申し込みを受けるが発行までに時間を要するため、カード発行までの期間に利用される資料については「KIC 窓口」で件数を算出している。

※「衣笠図書館利用」とは、学生が図書館内で資料を閲覧した件数を表す（学生の利用は図書館内での閲覧のみ可）。

※貸し出し数には、DVD や VHS に付属されているテキスト等も含んでおり、1点とカウントしている。

2-9-2 視聴覚機器利用状況

上位10機材のうち9種類については、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパスどちらのキャンパスにおいても共通で10位までに入っている機材である。ノートパソコンについては需要が高く、時期によっては同じタイミングで複数の利用が重なり、キャンパスで整備している台数すべてが貸出中になることもある。

また、利用用途の特徴として、ノートパソコン、プロジェクタ、スクリーン等、授業利用よりも会議やイベントなど職員の利用が多いことがわかる。ノートパソコンの利用用途を見ると、授業利用が他の利用用途に比べて少ないが、これは、貸し出し用ノートパソコン以外に、学部・研究科事務室に5台ずつ整備しているノートパソコンを授業で利用されているためと考えられる。

順位	機材	台数	用途	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	ノートパソコン	10	授業	16	51	41	56	0	0	16	23	22	16	0	5	246
			会議	0	15	5	35	25	15	77	69	0	2	7	1	251
			イベント	126	79	80	77	93	98	136	140	161	102	137	42	42
	計			142	145	126	168	118	113	229	232	183	120	144	48	1,768
2	ビデオカメラ	12	授業	19	17	45	36	0	0	6	6	16	6	0	0	151
			会議	6	0	0	13	0	0	58	49	15	0	0	1	142
			イベント	3	57	42	74	11	15	15	77	98	50	73	38	38
	計			28	74	87	123	11	15	79	132	129	56	73	39	846
3	三脚	12	授業	4	14	32	15	0	0	6	4	16	6	0	0	97
			会議	6	0	0	13	0	0	30	57	15	0	0	1	122
			イベント	10	23	40	41	5	9	44	49	68	17	29	49	49
	計			20	37	72	69	5	9	80	110	99	23	29	50	603
4	プロジェクタ	5	授業	0	17	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	24
			会議	0	5	4	2	0	5	24	0	15	2	0	2	59
			イベント	35	26	9	6	12	7	42	28	34	17	24	42	42
	計			35	48	17	8	12	12	66	28	49	19	24	47	365
5	パソコン用音声ケーブル	3	授業	0	11	8	14	0	0	3	7	6	6	0	0	55
			会議	0	0	0	0	0	0	11	32	0	1	0	0	44
			イベント	12	0	2	12	0	8	10	19	36	2	31	6	6
	計			12	11	10	26	0	8	24	58	42	9	31	6	237
6	スクリーン	9	授業	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	3	8
			会議	0	3	2	2	0	5	17	0	15	2	0	2	48
			イベント	32	23	6	6	7	7	29	9	16	22	8	8	173
	計			32	26	8	8	7	17	46	9	31	24	8	13	229
7	延長コード	3	授業	13	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	2	33
			会議	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
			イベント	4	16	1	28	2	2	33	38	26	5	1	0	156
	計			17	16	19	28	2	3	33	38	26	5	1	2	190
8	RGBケーブル	3	授業	0	3	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	11
			会議	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	0	8
			イベント	10	5	7	25	4	13	11	5	30	5	13	4	132
	計			10	8	14	25	4	13	18	5	30	7	13	4	151
9	ワイヤレスマイク	3	授業	10	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	2	48
			会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			イベント	3	16	0	8	0	4	8	8	20	2	0	1	70
	計			13	16	36	8	0	4	8	8	20	2	0	3	118
10	デジタルカメラ	3	授業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			会議	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
			イベント	0	2	2	9	49	23	15	0	6	0	0	0	106
	計			0	2	2	12	49	23	15	0	6	0	0	0	109

図 57. 衣笠キャンパス 視聴覚機器貸出件数

順位	機材	台数	用途	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
1	ノートパソコン	10	授業	1	7	0	3	40	88	4	1	6	8	0	0	158	
			会議	1	0	1	0	0	2	0	2	4	1	2	9	22	
			イベント	49	50	20	40	80	33	107	144	143	21	132	20	839	
	計			51	57	21	43	120	123	111	147	153	30	134	29	1,019	
2	ビデオカメラ	10	授業	0	53	11	37	0	0	2	4	18	2	0	0	127	
			会議	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
			イベント	11	51	4	2	1	1	62	31	12	3	0	11	189	
	計			11	104	15	39	1	1	64	35	32	5	0	11	318	
3	三脚	7	授業	0	0	5	22	0	0	2	6	16	2	0	0	53	
			会議	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
			イベント	9	46	18	2	2	2	54	28	12	5	0	2	180	
	計			9	46	23	24	2	2	56	34	30	7	0	2	235	
4	プロジェクタ	5	授業	4	4	5	0	0	5	0	1	0	0	0	0	19	
			会議	1	0	2	2	2	2	2	1	2	0	1	4	19	
			イベント	18	2	2	7	27	11	41	21	21	22	6	7	185	
	計			23	6	9	9	29	18	43	23	23	22	7	11	223	
5	スクリーン	6	授業	0	0	5	0	0	15	0	1	0	0	0	0	21	
			会議	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
			イベント	16	28	1	5	9	11	53	40	20	8	4	2	197	
	計			17	28	6	5	9	26	53	41	20	8	4	5	222	
6	パソコン用音声ケーブル	3	授業	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
			会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			イベント	2	27	0	3	0	0	39	33	1	0	1	7	113	
	計			2	29	0	3	0	0	40	33	1	0	1	7	116	
7	延長コード	3	授業	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
			会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			イベント	0	0	0	0	1	0	3	18	20	8	4	2	56	
	計			0	0	5	2	1	0	3	18	20	8	4	2	63	
8	RGBケーブル	4	授業	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
			会議	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
			イベント	0	0	5	0	0	1	24	2	0	0	0	5	37	
	計			0	0	10	0	0	1	25	2	0	0	0	5	43	
9	デジタルカメラ	2	授業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			イベント	1	1	0	7	3	3	4	6	1	0	1	5	32	
	計			1	1	0	7	3	3	4	6	1	0	1	5	32	
10	LANケーブル	3	授業	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	
			会議	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
			イベント	1	1	0	0	0	0	5	0	0	0	14	0	21	
	計			1	1	1	0	0	0	9	0	0	0	14	0	26	

図 58. びわこ・くさつキャンパス 視聴覚機器貸出件数

※衣笠キャンパス: 有心館1F および、びわこ・くさつキャンパス: アクロスウイング2F の RAINBOW サービスカウンター (旧情報システム課窓口) において、教職員を対象にノートパソコンやビデオカメラ等の機材の貸出サービスを行っており、下記は窓口での貸出件数上位 10 種類の機材の利用件数および利用用途を示している。

※貸出数は、貸出日数をカウントしたものである。(例: 1 利用者が 4/1~4/5 まで貸りた場合は、5 とカウントする。)

※ノートパソコンについては、RAINBOW サービスカウンターに整備している以外に、教員の授業利用のために各学部・研究科事務室に 5 台ずつノートパソコンを整備している。

3. 参考

3-1 2005年度～2008年度学生数（各年度 5月1日現在）

学部	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
法学部	4,252	4,247	4,132	4,162
経済学部	3,600	3,807	3,731	3,788
経営学部	3,815	3,969	3,857	3,954
産業社会学部	4,693	4,634	4,538	4,529
国際関係学部	1,198	1,258	1,314	1,346
政策科学部	1,553	1,610	1,666	1,675
文学部	5,062	5,112	5,024	5,148
映像学部	0	0	168	341
理工学部	5,860	5,509	5,256	5,014
情報理工学部	1,339	2,076	2,683	2,564
生命科学部	0	0	0	394
薬学部	0	0	0	98
計	31,372	32,222	32,369	33,013

図 59. 学部別学生数の推移

大学院	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
法学研究科	202	178	141	120
経済学研究科	69	90	86	83
経営学研究科	178	135	121	125
社会学研究科	158	152	141	135
国際関係研究科	157	163	153	151
政策科学研究科	117	103	88	95
公務研究科	0	0	45	84
応用人間科学研究科	134	142	121	119
言語教育情報学研究科	134	122	105	103
文学研究科	212	229	235	231
理工学研究科	1,222	1,304	1,275	1,315
テクノロジー・マネジメント研究科	63	109	112	107
先端総合学術研究科	100	120	125	138
法務研究科	305	340	351	350
経営管理研究科	0	79	146	146
計	3,051	3,266	3,245	3,302

図 60. 研究科別学生数の推移

3-2 RAINBOW パソコン台数

情報教室およびマルチメディアルームに設置している RAINBOW パソコン台数は、2007 年度から 2008 年度にかけて変化はない。

3-2-1 情報教室

キャンパス	建物名	階	教室名	定員	台数	
キャンパス 朱雀	中川会館	3	情報演習室	45	50	
			小計	45	50	
衣笠キャンパス	有心館	2	情報処理演習室1(421)	75	80	
			情報語学演習室1(422)	40	45	
			情報語学演習室2(423)	40	45	
		3	情報処理演習室2(431)	75	80	
			情報語学演習室3(432)	35	40	
			情報語学演習室4(433)	35	40	
		4	情報処理演習室3(441)	75	80	
			情報語学演習室5(442)	35	40	
	情報語学演習室6(443)【サテライト対応】		35	40		
	尽心館	B1	情報処理演習室1(001)	75	80	
			情報語学演習室1(002)	45	50	
	清心館	2	情報処理演習室1(526)	75	80	
	以学館	2	情報処理演習室1(21)	80	86	
	恒心館	2	情報語学演習室1(724)	65	70	
			デジタルセミナールーム1(734)	30	35	
	洋洋館	B1	情報処理演習室2(951)	85	88	
			3	情報語学演習室3(961)	35	40
			4	情報語学演習室1(971)	75	80
			5	情報語学演習室1(984)	45	50
			5	情報語学演習室2(985)	35	40
		小計	1,090	1,189		
びわく・くさのキャンパス	プリズム ハウス	2	情報語学演習室P21	35	40	
			情報語学演習室P22	35	40	
			情報語学演習室P23	35	40	
			情報語学演習室P24	35	40	
			情報処理演習室P25	70	76	
			情報処理演習室P26	85	90	
		3	情報処理演習室P31	70	76	
			情報処理演習室P32	85	90	
			情報処理演習室P33	85	90	
			情報処理演習室P34	85	90	
	コーニング ハウス I	1	情報語学演習室C11	35	40	
			情報語学演習室C12	45	50	
		2	情報処理演習室C21	115	120	
			情報処理演習室C22	115	120	
		3	情報処理演習室C31	115	120	
			情報処理演習室C32	135	140	
	アクロス ウイング	1	情報語学演習室AC11	35	40	
			情報語学演習室AC12	35	40	
			情報語学演習室AC13	35	40	
			情報語学演習室AC14【サテライト対応】	35	40	
		小計	1,320	1,422		
アカデミア@大阪	7	サテライト教室	25	25		
		サテライト教室	16	16		
		小計	41	41		
合計			2,496	2,702		

図 61. 情報教室 RAINBOW パソコン設置台数

3-2-2 マルチメディアルーム

キャンパス	建物名	階	教室名	台数
キャンパス 朱雀	中川会館	3	マルチメディアルーム	20
				小計
衣笠キャンパス	尽心館	B1	マルチメディアルーム	80
	図書館	1	マルチメディアルーム	120
	存心館	1	マルチメディアルーム	157
	洋洋館	1	マルチメディアルーム	112
		4	情報語学自習室(972)	40
小計			509	
キャンパス くさつ びわこ	メディアセンター	1	マルチメディアルーム	124
	プリズムハウス	1	マルチメディアルーム	196
	アクロス ウイング	1	情報語学自習室	40
		3	マルチメディアルーム	177
小計			537	
アカデミア@大阪		6	学生用PCスペース	10
		7	学生用PCスペース	2
小計			12	
東京キャンパス		8	PCコーナー	12
小計			12	
東京オフィス		8	PCコーナー	19
小計			19	
合計				1,109

図 62. マルチメディアルーム RAINBOW パソコン設置台数

※びわこ・くさつキャンパスのプリズムハウス1階マルチメディアルームは、2008年9月にアクロスウイング1階より移設した。

以上